

## 中型集塵機 Dust Collector

### 取扱説明書 Instruction Manual Document No. CMN009-010

#### 型式/MODELS

CMP-750AT3N(-V1)	(200V)
CMP-1500AT3N(-V1)	(200V)
CMP-2200AT3	(200-230V)



- 取扱説明書(以下、本書といいます)の『製品使用上のご注意』の内容をよく理解し、本書をよく読んでから操作してください。  
Please understand well the contents of "Cautions on Product Use" of Instruction Manual (hereinafter referred to as "this manual"), and operate it after often reading this manual.
- 本書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

## ■はじめに／Introduction

このたびは、CMPシリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

チコーエアートック株式会社は「風の技術」を有効に利用し、コンパクトに空気をクリーンにすることをテーマとして努力しております。

CMPシリーズは、この風の技術をコンパクトにまとめた省エネ形のクリーンBOXです。

長期間故障なく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分に発揮できますよう正しいお取扱いをお願いします。

We greatly appreciate that you have purchased our CMP Series.

CHIKO AIRTEC CO., LTD. is working to achieve clean air with compact equipment while utilizing “air technology” effectively.

The CMP Series is an energy-saving-type clean box that realizes “air technology” in a compact body.

Please read this instruction manual thoroughly and handle this CMP Series machine correctly so that you can use it safely for a long time and enjoy its full performance.

## ■本文中の表記について／About Notation

本書では、以下の表記に従って説明しています。

This manual explains according to the following notations.

表記／Notation	意味／Description
	本機の機能を十分に発揮するための情報や、本機の損傷を防ぐための情報を記載しています。 The information for fully exhibiting the function of this machine and the information for preventing damage to this machine are indicated.
	参考となる情報を記載しています。 The information which is consulted is indicated.
<b>1. 2. 3. ...</b>	操作手順を記載しています。 The operating procedure is indicated.
	参照先を記載しています。 The reference destination is indicated.

## ■転載・複写について／Copyrights

- 本書の著作権は、チコーエアートック株式会社が所有しています。  
CHIKO AIRTEC CO., LTD. owns the copyright of this manual.
- 本書の内容の一部あるいは全部の無断転載や複写は固くお断りします。  
Unauthorized reproduction or copying of part or all of the content of this manual is strictly prohibited.
- 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。  
The contents of this manual are to change without notice.

## 目次

<b>第1章 製品使用上のご注意</b> .....	<b>3</b>
1.1 安全に関する表記.....	3
1.2 運搬・保管・輸送時のご注意.....	3
1.3 設置時のご注意.....	3
1.4 運転時のご注意.....	4
1.5 その他のご注意.....	4
1.6 危険シールの貼付位置.....	5
1.6.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP).....	5
1.6.2 CMP-2200AT3.....	6
<b>第2章 各部の名称</b> .....	<b>7</b>
2.1 付属品.....	7
2.2 装置本体.....	8
2.2.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP).....	8
2.2.2 CMP-2200AT3.....	9
2.3 AT3パネル.....	10
2.4 ディスプレー表示.....	11
2.4.1 モードについて.....	11
2.4.2 停止中の表示.....	11
2.4.3 運転中の表示.....	12
<b>第3章 運転</b> .....	<b>13</b>
3.1 運転前の準備.....	13
3.1.1 設置.....	13
3.1.2 配線・配管.....	14
3.2 運転.....	14
3.3 初期圧登録.....	15
<b>第4章 各種設定(モードセレクトモード)</b> .....	<b>16</b>
4.1 モードセレクトモードでの画面遷移.....	16
4.2 通信フォーマット設定モード(通信機能装備時).....	16
4.3 風量不足お知らせタイミング設定モード.....	16
4.4 パルス制御設定モード.....	17
4.5 その他の設定モード.....	17
4.5.1 積算稼働時間リセットモード.....	18
4.5.2 設定値リセットモード.....	18
4.6 エラー確認モード.....	18
<b>第5章 保守・点検</b> .....	<b>19</b>
5.1 フィルターの交換.....	19
5.1.1 ダストトレイ(ビニール袋)の交換(750/1500の場合).....	19
5.1.2 ダストトレイの清掃(2200の場合).....	19
5.1.3 1次フィルターの交換(750/1500の場合).....	20
5.1.4 1次フィルターの交換(2200の場合).....	20
5.1.5 排気フィルターの交換(-V1仕様のみ).....	21
5.1.6 インバーター冷却用吸・排気フィルターの交換(750/1500の場合).....	22
5.1.7 インバーター冷却用吸気/排気フィルターの交換(2200の場合).....	23
5.2 日常点検.....	23
5.3 お手入れ方法.....	23

5.4 エラー・警告.....	24
5.4.1 エラー・警告の処置方法.....	24
5.4.2 エラー・警告一覧.....	25
5.5 故障と思ったら.....	26
<b>第6章 便利な使い方(オプション).....</b>	<b>27</b>
6.1 リモートケーブル.....	27
6.1.1 標準接続図.....	27
6.1.2 ピンアサイン.....	29
6.1.3 リモート操作.....	30
6.2 通信機能.....	30
6.2.1 RS-485通信.....	30
6.2.2 イーサネット.....	30
<b>第7章 付録.....</b>	<b>31</b>
7.1 仕様.....	31
7.2 消耗品リスト.....	31
7.3 電気回路図.....	32
7.3.1 CMP-750AT3N/CMP-1500AT3N.....	32
7.3.2 CMP-2200AT3.....	33

# 第1章 製品使用上のご注意

## 1.1 安全に関する表記

この取扱説明書には、使用時の注意事項が下記の記号とともに記載されています。  
必ずお読みください。

記号	意味
 警告	正しく使用しない場合、取扱者が死亡または重傷を負う危険性がある注意事項が記載されています。
 注意	正しく使用しない場合、取扱者が傷害を負う危険性や本装置を損傷する恐れがある注意事項が記載されています。
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行する「強制」の内容です。

## 1.2 運搬・保管・輸送時のご注意

 警告		<ul style="list-style-type: none"> <li>運搬は、2人以上で行って下さい。 転倒などにより、けがをする恐れがあります。</li> </ul>
 注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送・保管は安全な場所で、温度-10℃～60℃ 湿度80%以下の範囲として下さい。</li> </ul>

## 1.3 設置時のご注意

 警告		<ul style="list-style-type: none"> <li>引火性・爆発性・腐食物質の霧・煙・ガスが滞留している場所や、これらの付近に設置しないでください。</li> </ul>
 注意		<ul style="list-style-type: none"> <li>本機は、屋内クリーンルーム内または清浄度の高い工場に設置することを前提とした構造となっていますので、屋外などには設置しないでください。</li> <li>狭い吸引口で使用しないでください。 吸引口が狭い(圧力が高い)状態で使用し続けるとモーターが冷却出来ず高温になる恐れがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>回転機器が内蔵されていますので、水平で振動のない場所に設置してください。</li> <li>常温(周囲温度0～40℃/湿度80%以下)で、結露しない場所に設置してください。 高温・結露は、電気部品の故障、感電の原因になります。</li> <li>吸引雰囲気温度(集塵対象の粉塵をとりまく周囲の温度)が高いとモーター能力の低下・故障の原因になりますので十分考慮してください。</li> <li>排気口は十分なスペース(排気口より100mm以上)を設けてください。 排気口を塞ぐと正規の吸引力が発揮できません。また、ボックス内部で十分な冷却が行われないため、モーター焼けや電気部品の故障原因となります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海拔1,000m以下の標高に設置してください。</li> </ul>
--	---

## 1.4 運転時のご注意

 <b>警告</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次の物質は吸引しないでください。 引火性物質 ..... ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油・塗料など。 爆発性粉塵 ..... アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・エポキシなど 火花を含んだ粉塵.... 高速切断機・グラインダー・溶接機などから発生する火花を含んだ粉塵。 火種..... たばこ・油・薬品などの液体 その他..... 水・油・薬品などの液体</li> <li>• 引火性・爆発性・腐食物質の霧・煙・ガスが滞留している場所や、これらの付近で使用しないでください。</li> <li>• 接続は、確実にを行い、ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。 火災・感電の原因になります。</li> <li>• 本機の仕様と異なる電源で使用しないでください。</li> </ul>
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 粉塵爆発のおそれのない乾いた粉塵の吸引に使用してください。</li> <li>• アース線は必ず接続して使用してください。</li> </ul>

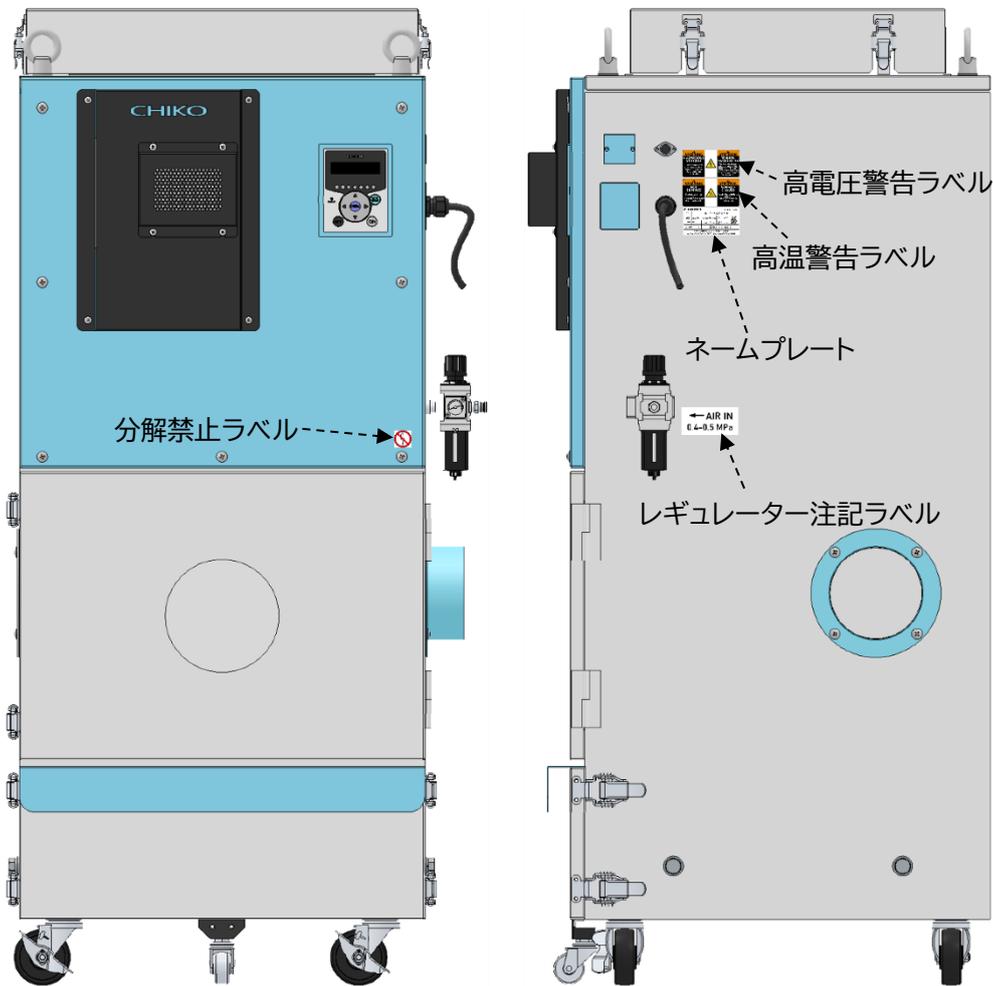
 <b>注意</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転中は移動させないでください。</li> </ul>
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 汚染度2の場所で使用してください。</li> <li>• 過電圧カテゴリーが区分IIIの電源で使用してください。</li> <li>• 停電時は、通電をOFFにしてください。 停電復旧時に、けが・装置破損の原因になります。</li> <li>• フィルターは正しく取り付け使用してください。 フィルターが取り付けられていない、あるいは目詰まりや破損した状態で運転すると、モーター内へ異物が混入し、故障の原因となります。</li> </ul>

## 1.5 其他のご注意

 <b>警告</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機を分解・改造しないでください。 感電・けがの原因になります。 内部の点検や修理はお買い上げになった販売店にご連絡ください。</li> </ul>
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 設置、接続、運転、操作、点検、故障診断の作業は、取扱説明書の内容に従い、適切に行ってください。 誤った作業を行うと、火災・感電・けがなどの事故の原因になります。</li> </ul>
 <b>注意</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 廃棄する場合は、産業廃棄物として適切に処分してください。</li> </ul>

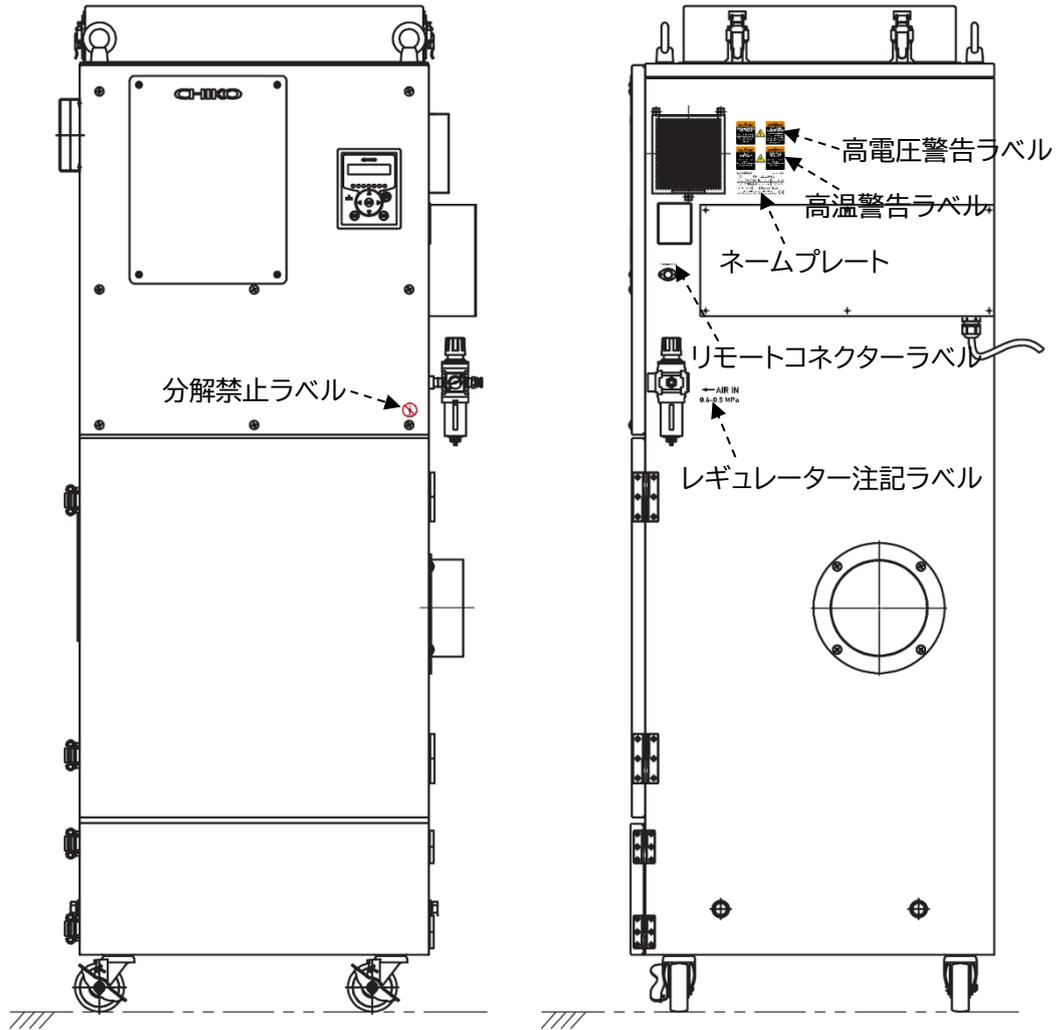
# 1.6 危険シールの貼付位置

## 1.6.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP)



高電圧警告ラベル	高温警告ラベル
ネームプレート	レギュレーター注記ラベル
分解禁止ラベル	

## 1.6.2 CMP-2200AT3



<p>高電圧警告ラベル</p>	<p>高温警告ラベル</p>
	
<p>ネームプレート</p>	<p>レギュレーター注記ラベル</p>
	
<p>分解禁止ラベル</p>	<p>リモートコネクターラベル</p>
	<p>For Remote cable</p>

## 第2章 各部の名称

### 2.1 付属品



①



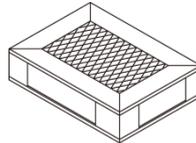
②



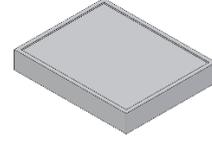
③



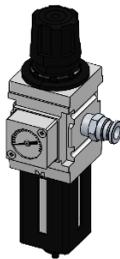
④



⑤



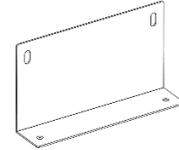
⑥



⑦



⑧

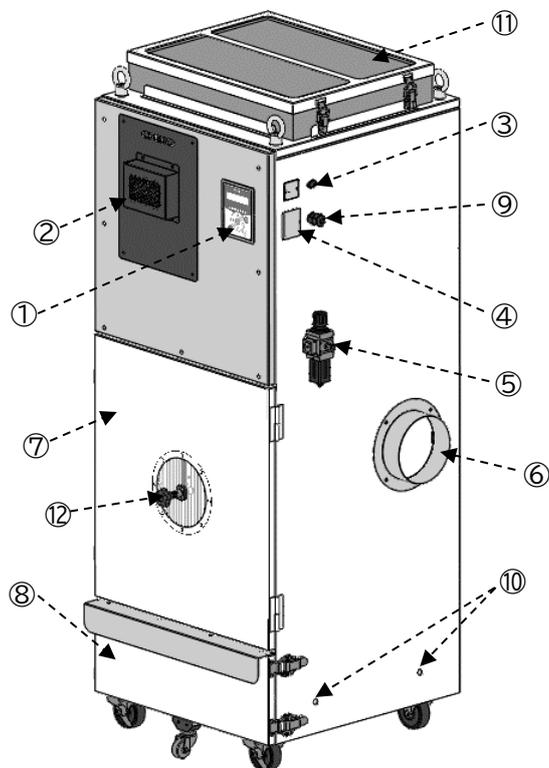


⑨

番号	名称	働き	数量
①	帯電防止ビニール袋	集塵物を溜めます。	1
②	1次フィルター	粉塵を収集します。	4
③	インバーター冷却吸排気フィルター (CMP-750/CMS-1500AT3N))	電気部品を粉塵から守ります。	1
④	インバーター冷却吸気/排気フィルター (CMP-2200AT3)	電気部品を粉塵から守ります。	2
⑤	インバーター冷却吸排気 HEPA フィルター	排気をクリーンにします。(-V1仕様のみ)	1
⑥	排気 HEPA フィルター	排気をクリーンにします。(-V1仕様のみ)	1
⑦	フィルターレギュレーター	圧縮空気の圧力を調整します。	1
⑧	スタートアップガイド	集塵機の電源を入れて、使用する際に確認します。	1
⑨	ブラケット	集塵機を床に固定するための治具です。	2

## 2.2 装置本体

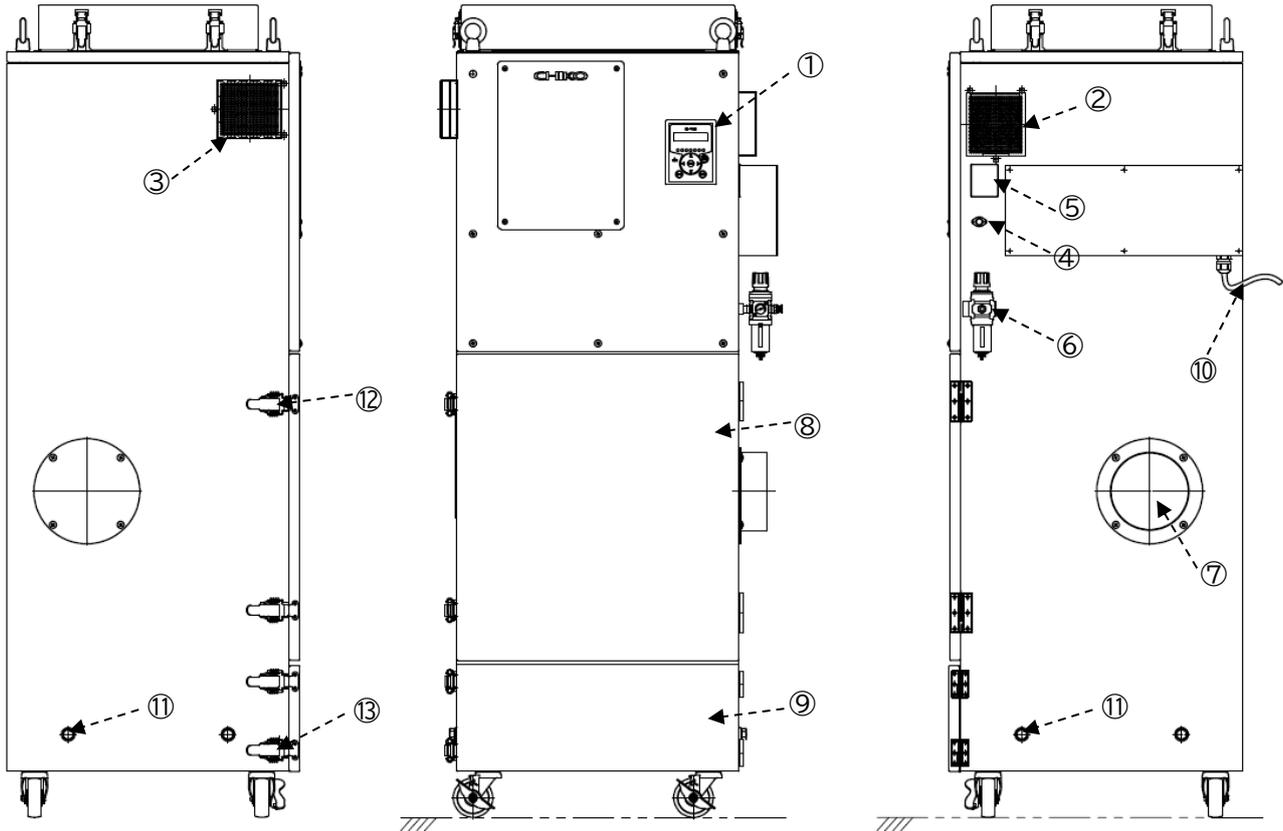
### 2.2.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP)



番号	名称	働き
①	AT3パネル(操作パネル)	本機を操作します。
②	インバーター冷却吸・排気 フィルター収納カバー	インバーター冷却吸・排気フィルターを収納しています。 V1仕様は、HEPAフィルターを収納しています。(※)
③	リモートコネクター	リモートケーブル(別売)を接続します。
④	コミュニケーションボード設置箇所	コミュニケーションボード(別売)を設置します。
⑤	フィルターレギュレーター設置箇所	フィルターレギュレーター(付属)を設置します。
⑥	吸込み口	吸気ダクトを接続します。
⑦	1次フィルター室	1次フィルターを収納しています。
⑧	ダストトレイ	帯電防止ビニール袋を収納しています。
⑨	電源ケーブル	電源仕様により形状が異なります。
⑩	アンカー金具取り付け穴	集塵機をアンカーで固定する場合に使用します。
⑪	排気HEPAフィルター(-V1※)	排気をクリーンにします。
⑫	点検窓ワイパー(-WIP※)	点検窓に付着したゼオライト・塵を落とします。

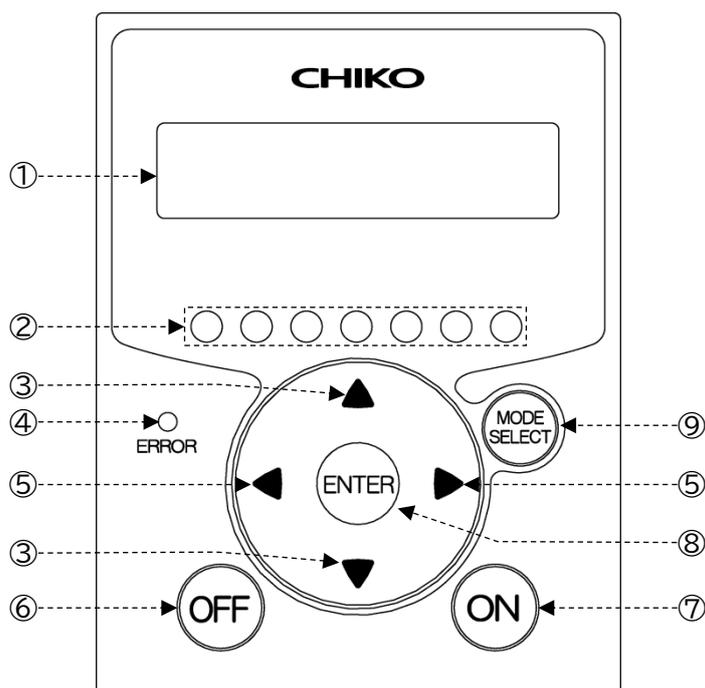
※オプション機種

## 2.2.2 CMP-2200AT3



番号	名称	働き
①	AT3パネル(操作パネル)	本機を操作します。
②	インバーター冷却吸気フィルター収納カバー	インバーター冷却吸気フィルターを収納しています。
③	インバーター冷却排気フィルター収納カバー	インバーター冷却排気フィルターを収納しています。
④	リモートコネクター	リモートケーブル(別売)を接続します。
⑤	コミュニケーションボード設置箇所	コミュニケーションボード(別売)を設置します。
⑥	フィルターレギュレーター設置箇所	フィルターレギュレーター(付属)を設置します。
⑦	吸込み口	吸気ダクトを接続します。
⑧	1次フィルター室	1次フィルターを収納しています。
⑨	ダストボックス	ダストトレイを収納しています。
⑩	電源ケーブル	電源仕様により形状が異なります。
⑪	アンカー金具取り付け穴(左右)	集塵機をアンカーで固定する場合に使用します。
⑫	パッチン錠	1次フィルター室扉を固定します。
⑬	パッチン錠	ダストボックス扉を固定します。

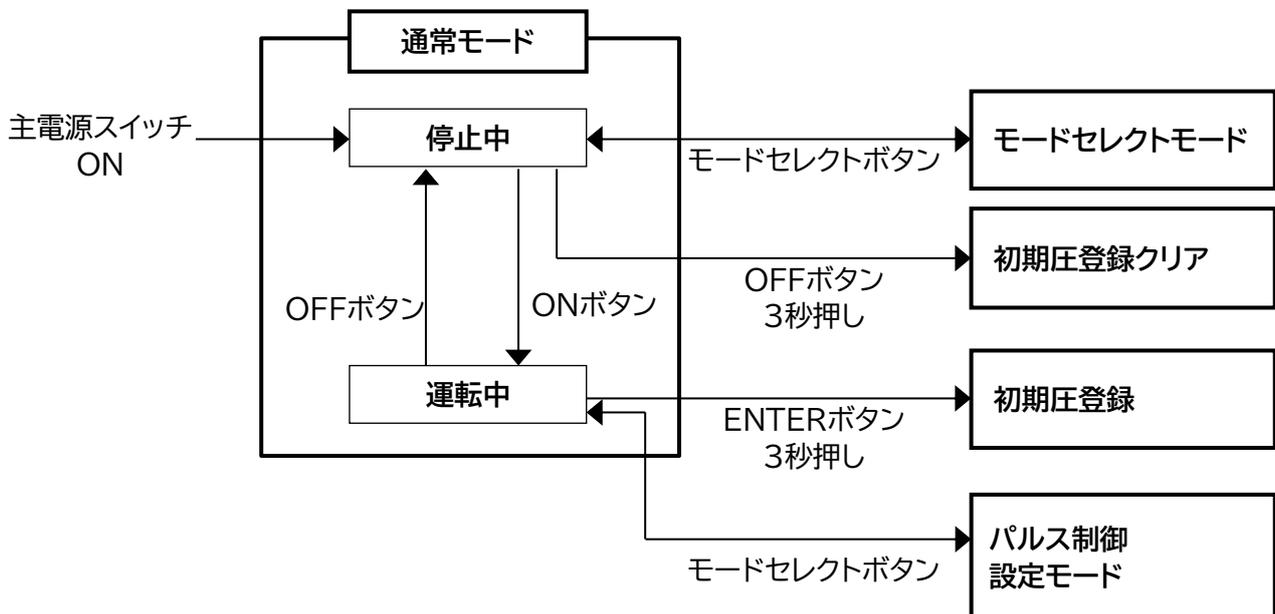
## 2.3 AT3パネル



番号	名称	働き
①	有機EL(OLED)ディスプレイ	運転状態や各種設定内容を表示します。 エラー・警告発生時は、エラー・警告 No.を表示します。
②	能力レベルランプ	能力レベルを緑色のランプで表示します。(レベル1~7)
③	↑/↓ボタン	停止中、運転中は、ディスプレイの表示内容を切り替えます。 ☞「2.4 ディスプレー表示」 モードセレクトモード時は、設定項目の切り替えと設定する数値データを変更します。 ☞「第4章 各種設定(モードセレクトモード)」
④	異常ランプ	運転を停止するエラーが発生したときは、赤色ランプが点灯し、 運転を継続するエラー・警告が発生したときは、赤色ランプが点滅します。
⑤	←/→ボタン	運転中は、←(→)ボタンを1回押すごとに能力が1レベル降下(上昇)します。 モードセレクトモード時は、←(→)ボタンを1回押すごとにカーソルが1つ左(右)に移動します。
⑥	OFFボタン	運転を停止します。 停止中に3秒間長押しすると、登録した初期圧をクリアします。 ☞「3.3 初期圧登録」
⑦	ONボタン	運転を開始します。
⑧	ENTERボタン	運転中は3秒間長押しすると初期圧登録に移行します。 ☞「3.3 初期圧登録」 モードセレクトモード時は、設定項目の選択と数値データを決定します。 ☞「第4章 各種設定(モードセレクトモード)」
⑨	MODE SELECTボタン	モードセレクトモードに移行します。 ☞「第4章 各種設定(モードセレクトモード)」 モードセレクトモード時は、1つ前に戻ります。 エラー・警告発生時は、エラー確認モード、エラークリアモードに移行します。

## 2.4 ディスプレー表示

### 2.4.1 モードについて

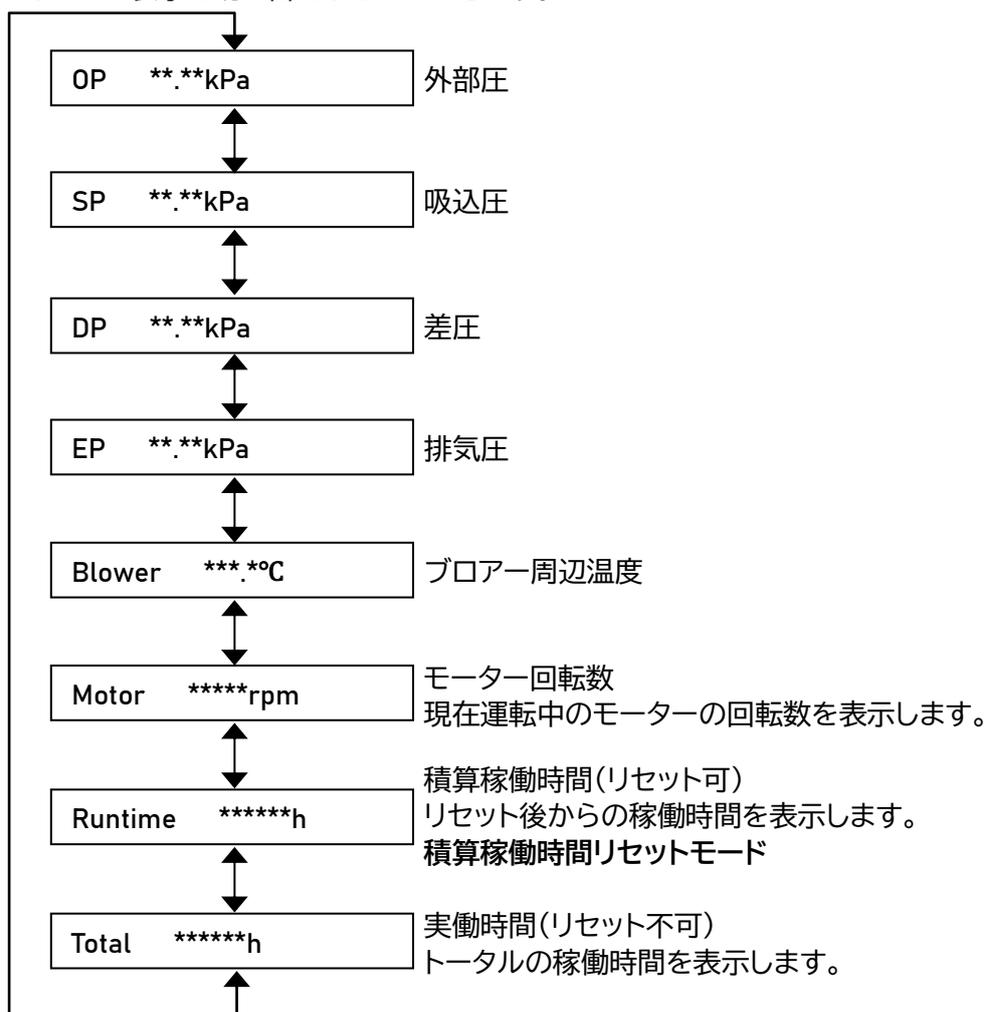


### 2.4.2 停止中の表示

Ver\*.\*\* ID.\*\* プログラムバージョン、RS-485通信用局番

### 2.4.3 運転中の表示

↑/↓ボタンで表示を切り替えることができます。



## 第3章 運転

### 3.1 運転前の準備

#### 3.1.1 設置

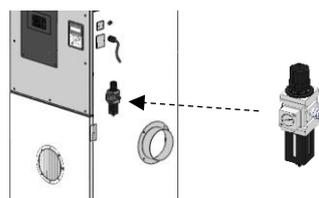
##### ■ 設置場所

使用上安全および本機の性能を十分に発揮させるため、下記の条件を満たす場所に設置してください。

項目	内容
周囲温度	0℃～+40℃の範囲
周囲湿度	80%RH以下の範囲(結露のないこと)
雰囲気	屋内(直射日光が当たらないこと)、腐食性ガス・引火性ガス・オイルミスト・粉塵のないこと

##### ■ フィルターレギュレーターの取り付け

フィルターレギュレーター設置箇所に取り付けます。



## 3.1.2 配線・配管

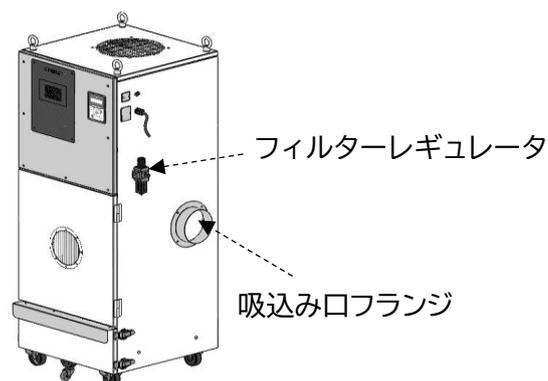
### ■ 配線

 <b>警告</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>接続は、確実にいき、ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。 火災・感電の原因になります。</li> <li>本機の仕様と異なる電源で使用しないでください。</li> </ul>
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>アース線は必ず接続して使用してください。</li> </ul>
 <b>注意</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>電圧低下の原因になりますので、タコ足配線にしないでください。 電圧が低下すると正常に動作しなくなり、故障の原因になります。</li> </ul>

本機の電源は、三相電源です。  
 供給電圧の許容範囲は、180～220Vです。  
 (CMS-2200AT3 は、180～253V。)  
 電源ケーブルの電源側を電源に接続します。  
 (過電流に対する保護として、回路遮断器をご使用ください。)

### ■ 配管

1. 吸気配管(別途ご準備)を吸込み口フランジに接続します。
2. φ8のエアーチューブをフィルターレギュレーターに接続します。  
推奨エアー圧:0.4～0.5MPa



### 重要

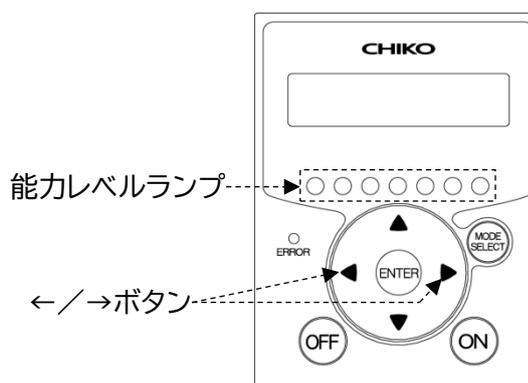
- 適切な配管で運転してください。  
配管はできるだけ短くし、配管口径は狭くしすぎないでください。

## 3.2 運転

1. 回路遮断器をONにします。  
ディスプレイにプログラムバージョンとRS-485通信のID番号が表示されます。
2. AT3パネルのONボタンを押します。  
装置の運転が開始されます。
3. 異常音がないことと、適切な吸引であることを確認します。

Ver\*\*.\*\* ID.\*\*

4. ←/→ボタンで吸引レベルを設定します。能力レベルランプ(1~7)で吸引能力が表示されます。



### 重要

- 3分以上のインターバルにおいて、ON/OFFの操作を行ってください。3分未満、特に30秒未満のON/OFFを繰り返すと故障の原因になります。
- 非常時以外、装置の運転停止を、回路遮断器のスイッチ OFF で行わないでください。何度も繰り返されると、故障の原因になります。

## 3.3 初期圧登録

初期登録した差圧からフィルター目詰まりによる風量低下を判定し、風量不足(WARN4)としてお知らせします。次の手順で、初期圧力を登録してください。

1. 本機を配線、配管します。
2. 任意の能力で運転を開始します。
3. ENTERボタンを3秒間長押しします。  
ディスプレイに“Initial DP Get Y”と表示され、初期圧力の更新登録を実施するか確認されます。
4. 更新登録を実施する場合はENTERボタンを押します。  
初期圧力の取得動作を開始します。  
実施しない場合は、MODE SELECTボタンを押すと通常動作に戻ります。
5. 能力レベル1から7まで順番に運転し、各能力レベルの差圧を自動取得します。  
初期圧力の取得動作中は、ディスプレイに“Initial DP Check”と「能力レベルと差圧」が交互に表示されます。
6. 登録が完了すると、ディスプレイに“Initial DP Entry”と表示されて通常動作に戻ります。

### 重要

- フィルターが必ず新品の状態で行ってください。
- 初期圧力登録後、配管を変えた場合やフィルターを全て交換された場合(排気フィルター除く)は、再度、初期圧力を更新登録してください。
- 初期圧力が登録されていないと初期圧力未登録警告(WARN6)が表示されます。
- 停止中にOFFボタンを3秒間長押しすると、登録した初期圧をクリアします。

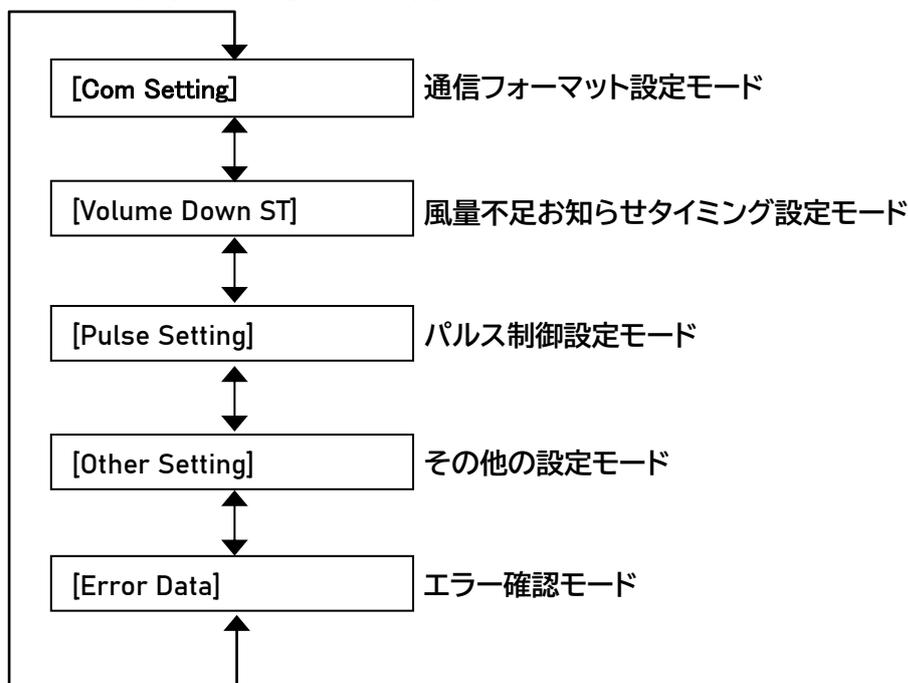
#### ● 初期圧登録クリア

1. 停止中にOFFボタンを3秒間長押しします。  
ディスプレイに“Initial DP Clr Y”と表示され、登録した初期圧をクリアするか確認されます。
2. クリアする場合はENTERボタンを押します。  
クリアしない場合は、MODE SELECTボタンを押すと通常動作に戻ります。
3. クリアが完了すると、ディスプレイに“Initial DP Clr”と表示されます。

## 第4章 各種設定(モードセレクトモード)

### 4.1 モードセレクトモードでの画面遷移

停止中にMODE SELECTボタンを押すとモードセレクトモードに移行します。  
↑/↓ボタンで設定項目を切り替えます。



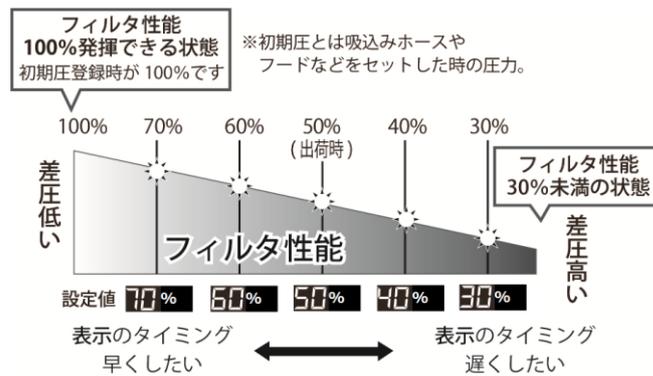
### 4.2 通信フォーマット設定モード(通信機能装備時)

通信フォーマットの設定については、オプションの別冊「AT3 通信仕様書」を参照してください。

### 4.3 風量不足お知らせタイミング設定モード

風量不足警告(WARN4)を表示させるタイミングを任意で変更できます。

1. モードセレクトモードに移行します。
2. ↑/↓ボタンを押して風量不足お知らせタイミング設定モード(“Volume Down ST”)に移行します。
3. ENTERボタンを押します。  
現在の設定内容が表示されます。  
標準出荷設定値は50%で、“3:Down to 50%”が表示されます。
4. ↑/↓ボタンを押して30%~70%の間で選択します。  
設定値を下げると風量不足お知らせのタイミングが遅くなり、設定値を上げると早くなります。



5. ENTERボタンを押して設定内容を決定します。
6. 終了する場合はMODE SELECTボタンを押して通常モードに戻ります。

## 4.4 パルス制御設定モード

パルス制御のインターバル時間と、AUTO有効/無効を設定します。

### ■インターバル時間

1. モードセレクトボタンを押します。
2. ↑/↓ボタンを押して、パルス制御設定モード【Pulse Setting】に移行します。(動作中は、この操作不要で3に飛びます。)
3. ENTERボタンを押します。インターバル時間の確認画面になり、現在の設定内容が表示されます。標準出荷設定値は15分です。
4. ENTERボタンを押します。設定画面になります。
5. ←/→ボタンを押して、3桁のカーソルを移動します。↑/↓ボタンを押して、数値を変更します。
6. ENTERボタンを押して、数値を決定します。
7. 終了する場合は、MODE SELECTボタンを押して通常モードに戻ります。

### ■AUTO有効/無効

1. モードセレクトボタンを押します。
2. ↑/↓ボタンを押して、パルス制御設定モード【Pulse Setting】に移行します。(動作中は、この操作不要で3に飛びます。)
3. ENTERボタンを押します。インターバル時間の確認画面になり、現在の設定内容が表示されます。
4. ↑/↓ボタンを押すと、AUTO設定の確認画面になり、現在の設定内容が表示されます。標準出荷設定値はAUTO設定【NO】です。
5. ENTERボタンを押します。設定画面になります。
6. ↑/↓ボタンで、※AUTO設定Yes/Noを選択します。
7. ENTERボタンを押して決定します。
8. 終了する場合は、MODE SELECTボタンを押して通常モードに戻ります。

※AUTO設定: WARN4 風量不足判定時に、パルスを打つ設定です。

## 4.5 その他の設定モード

以下の項目を設定します。

- 積算稼働時間のリセット  
☞ 「4.5.1 積算稼働時間リセットモード」
- 設定データのリセット  
☞ 「4.5.1 設定値リセットモード」

## 4.5.1 積算稼働時間リセットモード

積算稼働時間(Runtime)をリセットします。

1. モードセレクトモードに移行します。
2. ↑/↓ボタンを押してその他の設定モード(“Other Setting”)に移行します。
3. ENTERボタンを押します。  
“Time Adjust”が表示されます。
4. ↑/↓ボタンを押して、表示を“[Runtime Reset]”にします。
5. ENTERボタンを押します。  
“Reset Runtime Y”と表示され、積算稼働時間をリセットするか確認されます。  
リセットする場合はENTERボタンを押してください。
6. 終了する場合は、MODE SELECTボタンを押して通常モードに戻ります。

## 4.5.2 設定値リセットモード

通信フォーマットと風量不足お知らせタイミングとパルス制御のインターバル時間とAUTO設定を標準出荷設定値に戻し、積算稼働時間をリセットします。

1. モードセレクトモードに移行します。
2. ↑/↓ボタンを押してその他の設定モード(“Other Setting”)に移行します。
3. ENTERボタンを押します。  
“Time Adjust”が表示されます。
4. ↑/↓ボタンを押して、表示を“[Setting Reset]”にします。
5. ENTERボタンを押します。  
“1: YES”と表示され、設定値をリセットするか確認されます。  
リセットする場合はENTERボタンを押してください。
6. 再確認のため、“1: START”と表示されます。
7. ENTERボタンを押すと設定値がリセットされ、通常モードに移行します。

## 4.6 エラー確認モード

---

4件分のエラー履歴を確認することができます。  
エラー履歴は主電源スイッチをOFFするとクリアされます。

1. モードセレクトモードに移行します。
2. ↑/↓ボタンを押してエラー確認モードに移行します。
3. ENTERボタンを押します。  
直近で発生したエラーNoと発生したときの積算稼働時間が表示されます。
4. ↓ボタンを押すと、新しい順に4件分のエラー履歴が表示されます。
5. 終了する場合は、MODE SELECTボタンを押して通常モードに戻ります。

# 第5章 保守・点検



**注意**



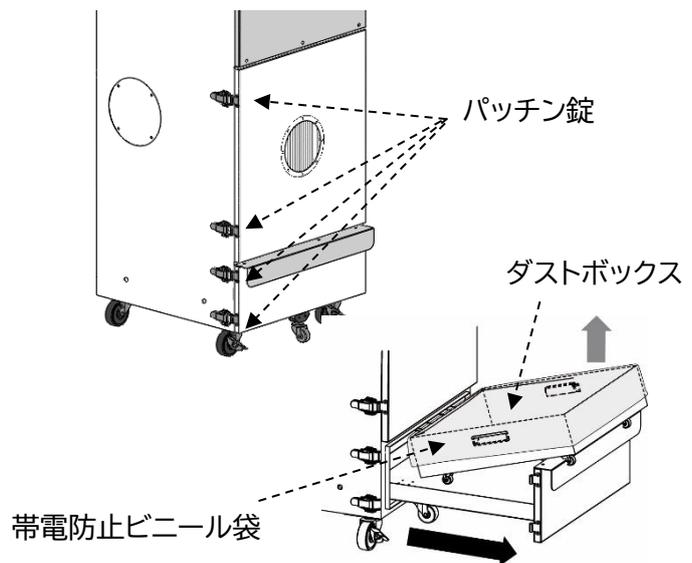
・ 保守・点検時は必ず電源を切り、電路遮断してから作業を行ってください。

## 5.1 フィルターの交換

目詰まりした場合、「WARN2」の警告が表示されますので、1次フィルターを交換してください。

### 5.1.1 ダストトレイ(ビニール袋)の交換(750/1500の場合)

1. ダストトレイの両サイドのパッチン錠(4か所)を外します。
2. ダストトレイを引き出して、ダストボックスを取り出し、帯電防止ビニール袋を交換します。(ビニール袋の上部のひもを両サイドから引くと、口を閉じることができます。)
3. ダストボックスをダストトレイに入れ、本体に戻し入れます。
4. パッチン錠(4か所)を元通りに取り付けます。



### 5.1.2 ダストトレイの清掃(2200の場合)

1. ダストボックス扉のパッチン錠(2か所)を外し、扉を開きます。
2. 押し上げレバーを右に倒して、ダストトレイを引き出し、ダストボックスを取り出し、トレイ内の粉塵を廃棄します。
3. ダストトレイを本体に差し込み(奥のストッパーに当たるまで押し込む)、押し上げレバーを起こして、ダストトレイを固定します。
4. パッチン錠(2か所)で、ダストボックス扉を固定します。

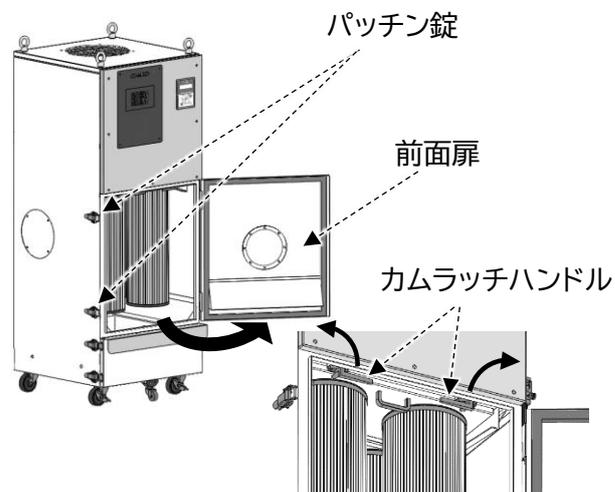


### 5.1.3 1次フィルターの交換(750/1500の場合)

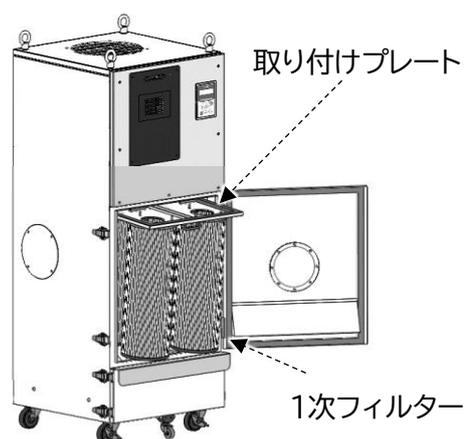
**重 要**

• 1次フィルターの交換は、吸気側フィルターケースを開くことができる十分なスペースがある場所で行ってください。

1. 前面扉のパッチン錠(2か所)を外します。
2. 前面扉を開け、カムラッチハンドル(2か所)を回してロック解除します。



3. 取手を手前に引き、1次フィルターを取り付けプレートごと取り外します。



**メ モ**

• 取り付け時、1次フィルター取り付けプレートは、強い力で奥までしっかり押し込んでください。  
※正しい位置でしかロックできません。

4. 1次フィルターを取り外し、新しい1次フィルターを元通りに取り付けます。
5. 1次フィルター取り付けプレートを本体へ挿入し、カムラッチハンドルでロックします。
6. 前面扉を閉じ、パッチン錠(2か所)で固定します。
7. 初期圧を登録します。(3.3参照)

### 5.1.4 1次フィルターの交換(2200の場合)

1. 1次フィルター室扉のパッチン錠(2か所)を外します。
2. フィルター固定板を手で押さえながら、固定ノブを外し、フィルター固定板を下げます。



3. フィルター固定板を引き出し、1次フィルターを交換します。  
(上側に引き抜いて交換します。)
4. フィルター固定板のV字部が奥になるように、本体に奥までしっかりと押し込みます。
5. フィルター固定板を持ち上げ、固定ノブで固定します。
6. 1次フィルター室扉を閉じ、パッチン錠(2か所)で固定します。
7. 初期圧を登録します。(3.3参照)

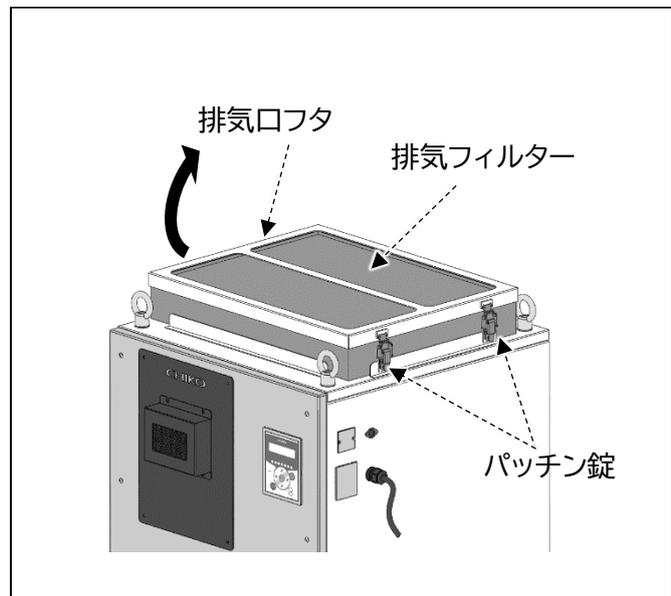


### 5.1.5 排気フィルターの交換(-V1仕様のみ)

**注意** • フィルターの取り付け時は、裏・表を間違えないでください。

**重要** • 排気フィルターの交換は、十分なスペースがある場所で行ってください。

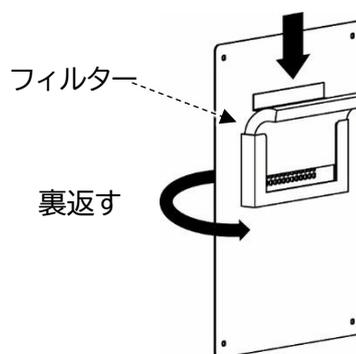
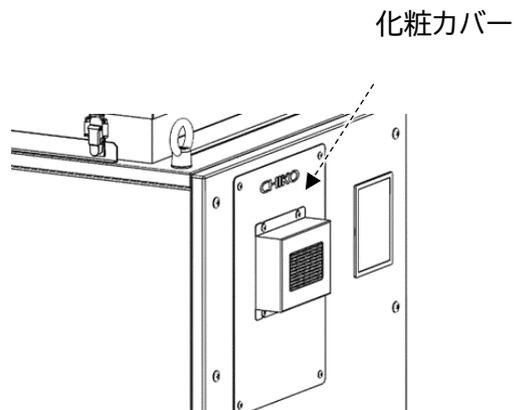
1. 排気口フタのパッチン錠(左右の4か所)を外し、排気口フタを取り外します。
2. 排気フィルターを取り出します。
3. 新しい排気フィルターを取り付けます。
4. 排気口フタを元通りに取り付けます。



## 5.1.6 インバーター冷却用吸・排気フィルターの交換(750/1500の場合)

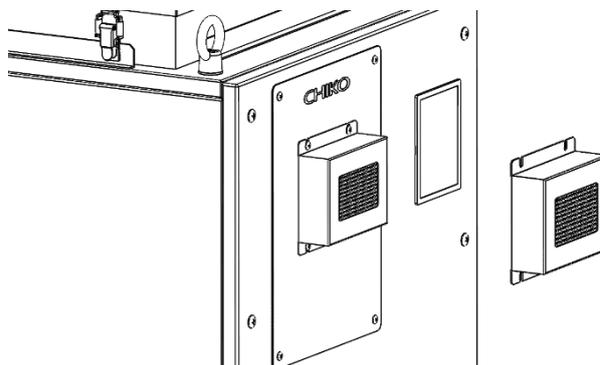
### ■ (標準)

1. 化粧カバーのビス(4か所)を取り外します。
2. 化粧カバーを持ち上げるようにして外します。落とさないようご注意ください。
3. 化粧カバーに設置されている、インバーター冷却用吸・排気フィルターを取り外します。
- 4.
5. 新しいインバーター冷却用吸・排気フィルターを取り付けます。
6. 化粧カバーを元通りに取り付けます。



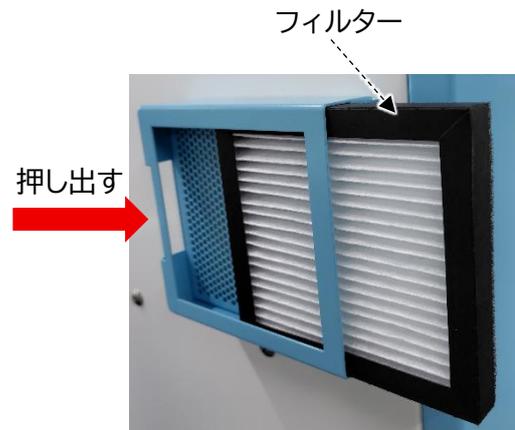
### ■ (-V1仕様)

1. インバーター冷却用吸・排気HEPAフィルター収納カバーのビス(4か所)を取り外します。
2. インバーター冷却用吸・排気HEPAフィルター収納カバーに設置されているインバーター冷却用吸・排気HEPAフィルターを取り外します。
3. 新しいインバーター冷却用吸・排気HEPAフィルターを取り付けます。
4. インバーター冷却用吸・排気HEPAフィルター収納カバーを元通り取り付けます。



### 5.1.7 インバーター冷却用吸気/排気フィルターの交換(2200の場合)

1. インバーター冷却用吸気フィルター収納カバーの下穴から、指でフィルターを押し上げ、取り外します。
2. 新しいフィルターを、インバーター冷却用吸気フィルター収納カバーの上方から、押し入れます。(パッキンが本体側に来るように入れてください。)
3. インバーター冷却用排気フィルター収納カバーの左穴から、指でフィルターを押し出し、取り外します。
4. 新しいフィルターを、インバーター冷却用吸気フィルター収納カバーの右方から、押し入れます。(パッキンが本体側に来るように入れてください。)



## 5.2 日常点検

点検項目	頻度	点検内容
各扉	運転前	完全に閉じているか
吸込口	運転前	吸込口が閉ざされていないか
排気の状態	1回/1日	排気口が閉ざされていないか
操作パネルの状態	1回/1日	エラーや警告が表示されていないか
本体の振動	運転時	異常振動、異常音がないか
レギュレーターの状態	運転時	エアーが供給されているか

## 5.3 お手入れ方法



**注意**



- 必ず電源を切り、機器が停止している事を確認してください。

- 本体外装面が汚れた場合は、傷がつきにくい柔らかい布や硬く絞った布などでやさしく拭いてください。
- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- ベンジン・シンナー・ガソリン・クレンザーなどは絶対に使用しないでください。

## 5.4 エラー・警告

本機には、エラー・警告が発生すると異常ランプを点灯(点滅)させ、ディスプレイに表示データとエラーNo.を交互に表示する自己診断機能があります。

表示されるエラー・警告の内容については、[図5.4.2 エラー・警告一覧](#)を参照してください。

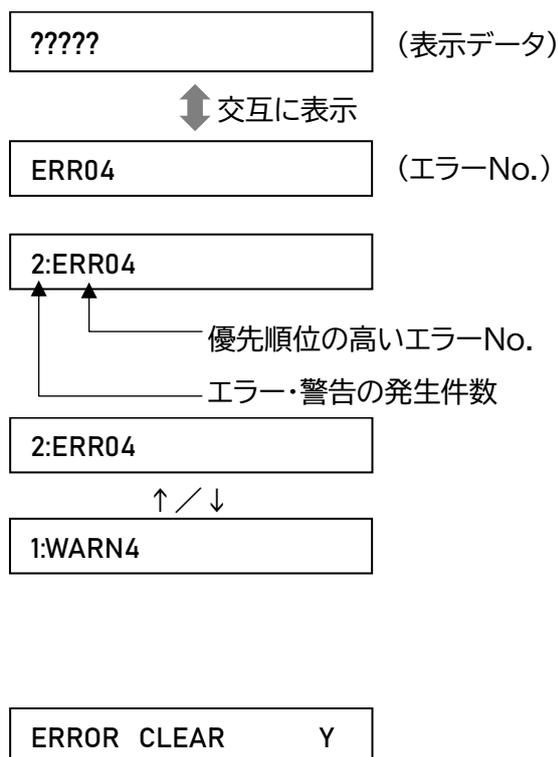
自己診断されない故障等については、[図5.5 故障と思ったら](#)を参照してください。

### 5.4.1 エラー・警告の処置方法

本機の自己診断機能によりエラー・警告が発生した場合は、以下の操作を行いエラー・警告を解除してください。

説明用の画面は例として記載しています。

1. エラー・警告が発生すると、異常ランプが点灯(点滅)しディスプレイに表示データとエラーNo.が交互に表示されます。  
複数のエラー・警告が発生しているときは、優先順位の高いものが表示されます。
2. MODE SELECTボタンを押し、エラー確認モードに移行します。  
複数のエラー・警告が発生しているときは、エラーNo.の左側に件数が表示されます。
3. 複数のエラー・警告が発生しているときは、↑/↓ボタンを押して、エラーNo.を確認します。
4. ディスプレイに表示されているエラーNo.に対応した処置を行います。  
[図5.4.2 エラー・警告一覧](#)
5. MODE SELECTボタンを押し、エラークリアモードに移行します。
6. エラー・警告を解除する場合は、ENTERボタンを押して通常モードに戻ります。  
エラー・警告を解除しない場合は、MODE SELECTボタンを押して通常モードに戻ります。



#### 重要

- WARN6とWARN7は一度警告を解除すると、次に主電源スイッチを入れ直すまで警告表示を行いません。

## 5.4.2 エラー・警告一覧

優先順位	エラー No.	エラー・警告名	内容	異常ランプ	本機の動作	方法
高 ↑          ↓ 低	ERR02	INVエラー	インバーターからの異常信号を検知	点灯	停止	「5.5 故障と思ったら」の②の対策方法に従って処置を行ってください。
	ERR04	内部温度異常	ブロアー周辺温度が異常に高い	点灯	停止	「5.5 故障と思ったら」の②の対策方法に従って処置を行ってください。
	ERR06	圧力異常	圧力不足状態で一定時間以上運転継続	点灯	停止	「5.5 故障と思ったら」の②の対策方法に従って処置を行ってください。
	ERR07	F-RAM書き込み異常	F-RAMに書き込みできない	点滅	運転継続	当社にお問い合わせください。
	ERR08	通信異常	BCC判定が不一致	点滅	運転継続	「AT3 通信仕様書」を参照してください。
	WARN1	内部温度上昇	ブロアー周辺温度が異常判定閾値に近い	点滅	運転継続	「5.5 故障と思ったら」の②の対策方法に従って処置を行ってください。
	WARN2	フィルター交換時期超過	風量低下状態で一定時間以上運転継続	点滅	運転継続	「5.5 故障と思ったら」の③の対策方法に従って処置を行ってください。
	WARN3	圧力(吸込)不足	吸込圧が低い	点滅	運転継続	「5.5 故障と思ったら」の②の対策方法に従って処置を行ってください。
	WARN4	風量不足	フィルター目詰まりによる風量低下	点滅	運転継続	「5.5 故障と思ったら」の③の対策方法に従って処置を行ってください。
	WARN5	排気圧力異常	排気圧が異常に高い	点滅	運転継続	「5.5 故障と思ったら」の③または④の対策方法に従って処置を行ってください。
	WARN6	初期圧力未登録	初期差圧が未登録	点滅	運転継続	初期圧登録を行ってください。

## 5.5 故障と思ったら

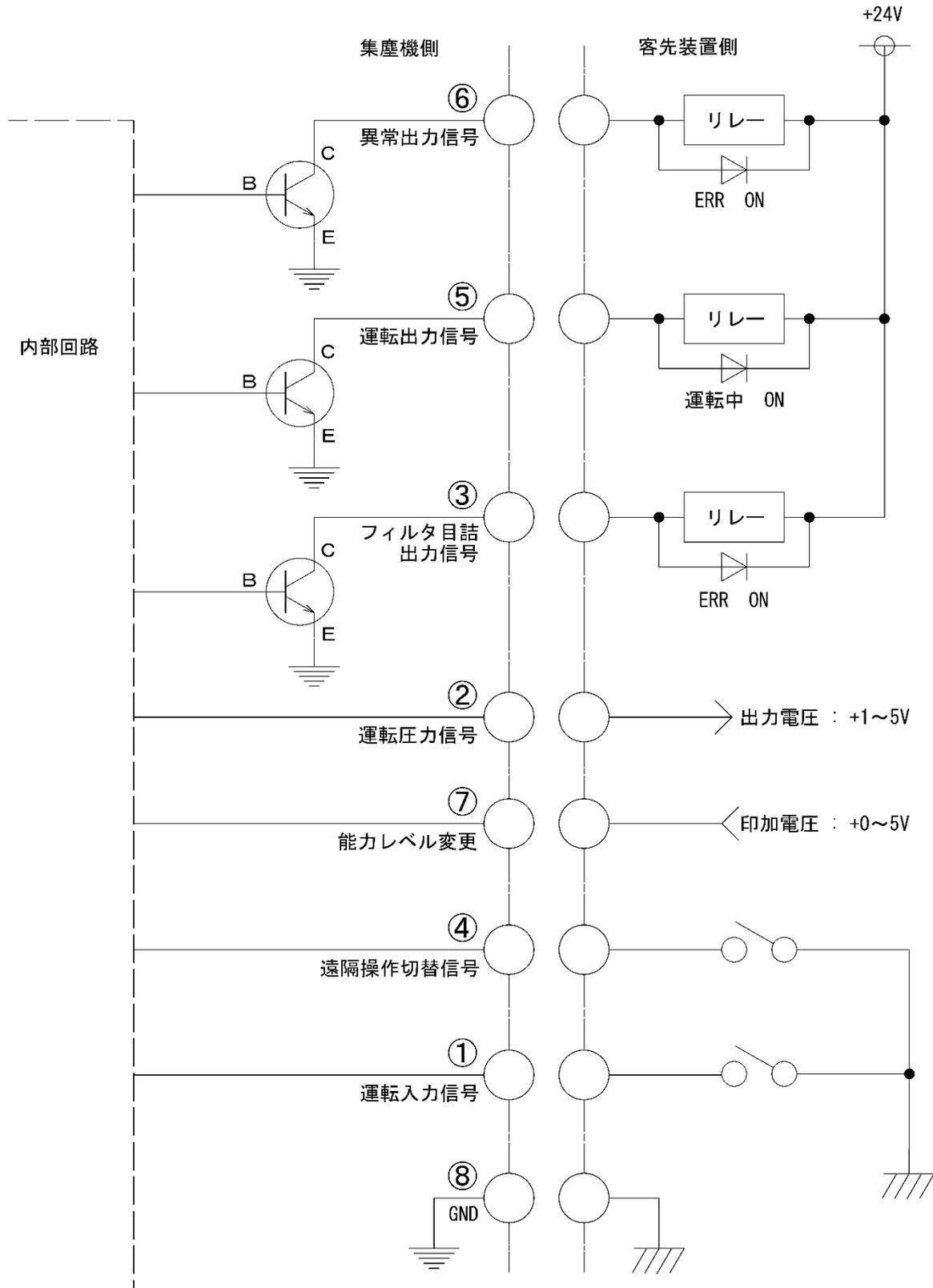
番号	故障現象	原因	対策方法
①	有機ELディスプレイが表示しない	電源がONになっていない	電源をONにする。
②	モーターが起動しない または、 運転中に突然停止した	モーター故障を起こしている	修理を依頼してください。 モーター交換になります。
		過負荷・異常温度により、停止した	[1]排気口／吸引口が塞がれていないか確認する。 [2]定格電圧を確認する。 [3]タコ足配線になっていないか確認する。 [4]フィルターの目詰まりや吸込み温度によりモーターが過熱していないか確認する。  [1]～[4]の確認後、処置を行い、主電源スイッチをON/OFFします。 運転が再開できない場合は、モーターの温度サーモスタッドが働いている可能性がありますので、主電源を切り、30分経過してから、運転を開始してください。
		1次フィルターが取り付けられていない	1次フィルターを正しく取り付ける。
		各部のパッチン錠が外れている	各部のパッチン錠を確実に取りける。
③	吸引力の低下	フィルターの目詰まり	フィルターを交換する。 ☞「5.1 フィルターの交換」 目詰まりを放置すると「粒子の吹きもれ」や「集塵機内部の温度上昇」の原因となります。
		配管・吸込口の詰り	配管の詰りや吸込口が塞がれていないか確認する。
		モーター故障を起こしている	修理を依頼してください。 モーター交換になります。
④	粒子の吹きもれ	フィルターの取り付け不良	フィルターを取り付け直す。 ☞「5.1 フィルターの交換」
		フィルターの破損、寿命	フィルターを交換する。 ☞「5.1 フィルターの交換」
		フィルターの目詰まり	フィルターを交換する。 ☞「5.1 フィルターの交換」
⑤	モーターの異常音、異常振動	ブローア内への異物混入	修理を依頼してください。
		モーターの軸受けが破損	修理を依頼してください。

※上記以外は当社にお問い合わせください。

# 第6章 便利な使い方(オプション)

## 6.1 リモートケーブル

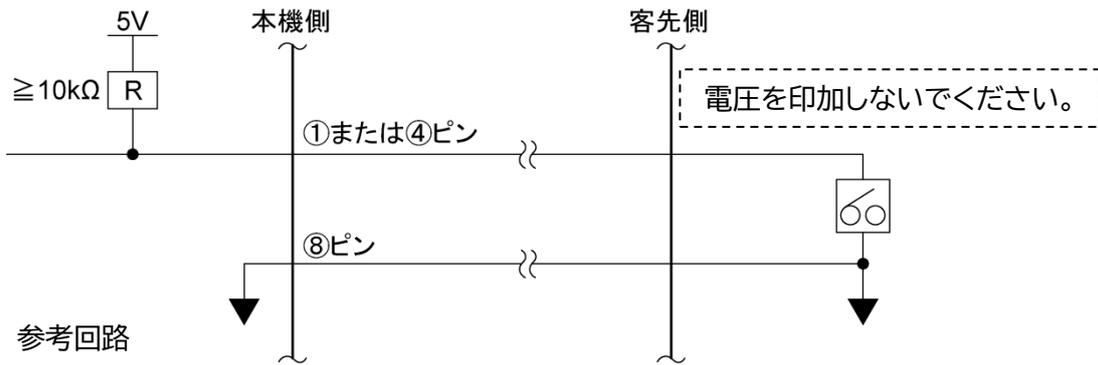
### 6.1.1 標準接続図



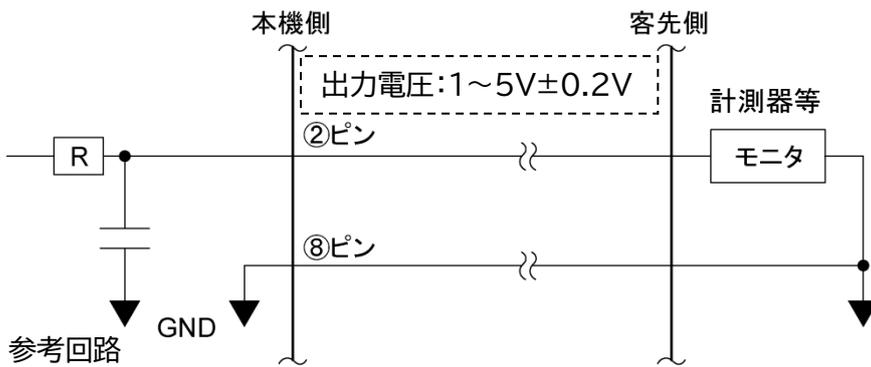
## 第 6 章 便利な使い方(オプション)

### ■ 接続例

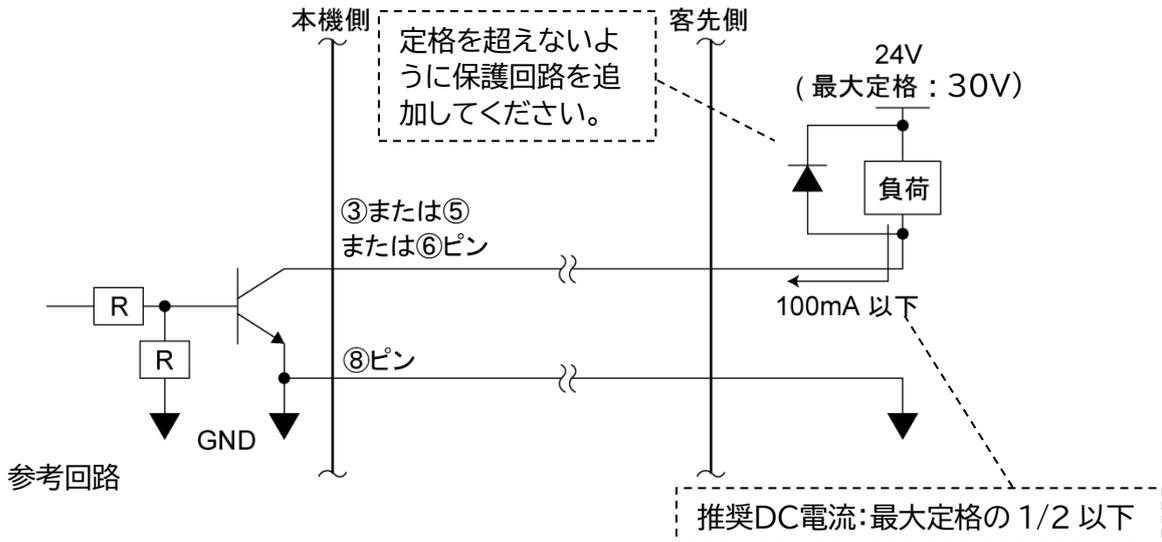
#### ● ①、④ピン(入力)



#### ● ②ピン(アナログ出力)



#### ● ③、⑤、⑥ピン(オープンコレクター出力)



#### ● ⑦ピン(入力)



参考回路

## 6.1.2 ピンアサイン

線色	ピン番号	信号名称	内容	
黒	①	運転入力信号* <sup>1</sup>	遠隔信号 (入力)	④と⑧を短絡後、①を短絡して運転を開始します。
赤/白	④	遠隔操作切替信号* <sup>1</sup>		④と⑧を短絡してリモート操作に移行させます。短絡するとAT3パネルの通常操作はできなくなります。
黄	⑦	能力レベル変更* <sup>2</sup>		⑦と⑧の間で、0~5Vの電圧を印加することで能力レベルを変更することができます。
黄/白	⑧	GND		—
黒/白	②	運転圧力信号	出力信号	現在の運転圧力を出力します。 アナログ信号:1~5V、インピーダンス:≥4.7kΩ
赤	③	フィルター目詰出力信号* <sup>3</sup>		運転中はHI、目詰まり発生時はLOを出力します。 オープンコレクター出力:NPN
緑	⑤	運転出力信号* <sup>3</sup>		運転中はLO、停止時はHIを出力します。 オープンコレクター出力:NPN
緑/白	⑥	異常出力信号* <sup>3</sup>		運転中はHI、異常発生時はLOを出力します。 オープンコレクター出力:NPN

【フィルター目詰出力信号】 ③ピン：WARN2, WARN4, WARN5の場合

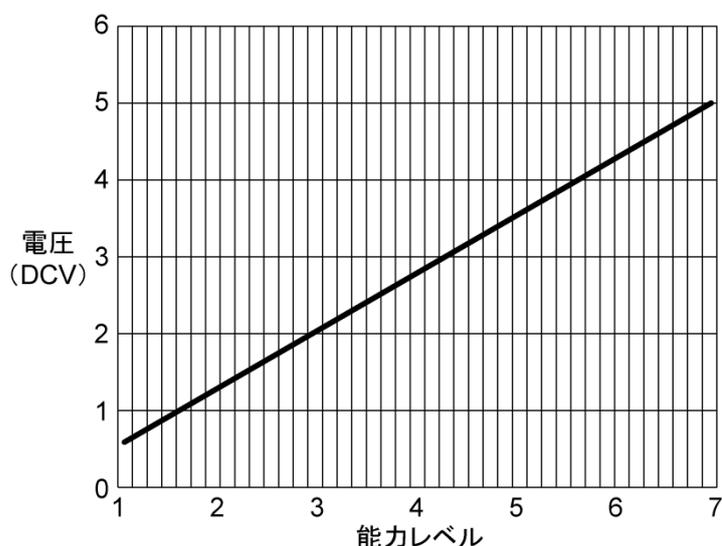
【異常出力信号】 ⑥ピン：全てのERRの場合

\*1: 接点入力(無電圧接点)

\*2: アナログ出力(1~5V)

⑦ピンの印加電圧閾値表

能力レベル	電圧(DCV)
1	0.6~1.1
2	1.2~1.7
3	1.8~2.3
4	2.4~2.9
5	3.0~3.5
6	3.6~4.1
7	4.2~5.0



誤差が±4%あるため、電圧を設定する場合は、各レベルの中点の電圧を印加してください。

\*3: オープンコレクター出力

絶対最大定格は、電圧:30V、電流:100mAです。

推奨電流値は、定格の1/2以下です。

インダクター(リレーなど)を付加する場合は、ノイズリミッター(約33Ω+0.1μF)またはダイオードなどを取り付けて下さい。

### 6.1.3 リモート操作

- リモート操作で運転ON/OFFする場合は、④ピンと⑧ピンを短絡させておきます。
  - ①ピンを短絡→運転ON
  - ①ピンを短絡しない→運転OFF

☞ 「6.1.2 ピンアサイン」を参照してください。
- 本機側の操作で運転ON/OFFして信号を取り出す場合は、④ピンと⑧ピンを短絡させないでください。「6.1.2 ピンアサイン」の説明に従い、必要な出力信号を取り出してください。
- リモート操作移行中に本機側で初期圧登録・運転ON/OFFの操作・能力レベルを変更することはできません。
- 能力レベルを変更する時にレベルが記憶されるため、万が一主電源を切っても前回の能力レベルを記憶しています。

## 6.2 通信機能

通信ボードセット(型式:RS-485またはRS-EN)を使用すると、運転ON/OFFや能力レベル変更などの制御、目詰まりや圧力不足などの情報の読み出しができます。  
詳細は別冊「AT3 通信仕様書」を参照してください。

### 6.2.1 RS-485通信

RS-485通信ボードの詳細は、取扱説明書を参照してください。

### 6.2.2 イーサネット

イーサネット用LANボードの詳細は、取扱説明書を参照してください。

#### 重要

「Com Setting」(通信フォーマット設定モード)の設定内容については、別冊「AT3 通信仕様書」を参照してください。

## 第7章 付録

### 7.1 仕様

型式	モーター 定格出力	電圧	電流値	周波数	最大 吸込風量	最大 吸込静 圧	騒音値 *1	質量
CMP-750AT3N (-V1) (-WIP)	1000W	200V 三相	6.5A	50/60Hz	17.5 m <sup>3</sup> /min	5.0kPa	57~ 68dB	125.0kg
CMP-1500AT3N (-V1) (-WIP)	1500W	200V 三相	9.3A	50/60Hz	27.5 m <sup>3</sup> /min	5.0kPa	57~ 68dB	133.0kg
CMP-2200AT3	2200W	200- 230V 三相	11A	50/60Hz	26.3 m <sup>3</sup> /min	5.8kPa	67~ 77dB	145.0kg

\*1: 騒音値は吸込み口にホースを接続し、本機から1m離れてAスケールdBで測定しています。

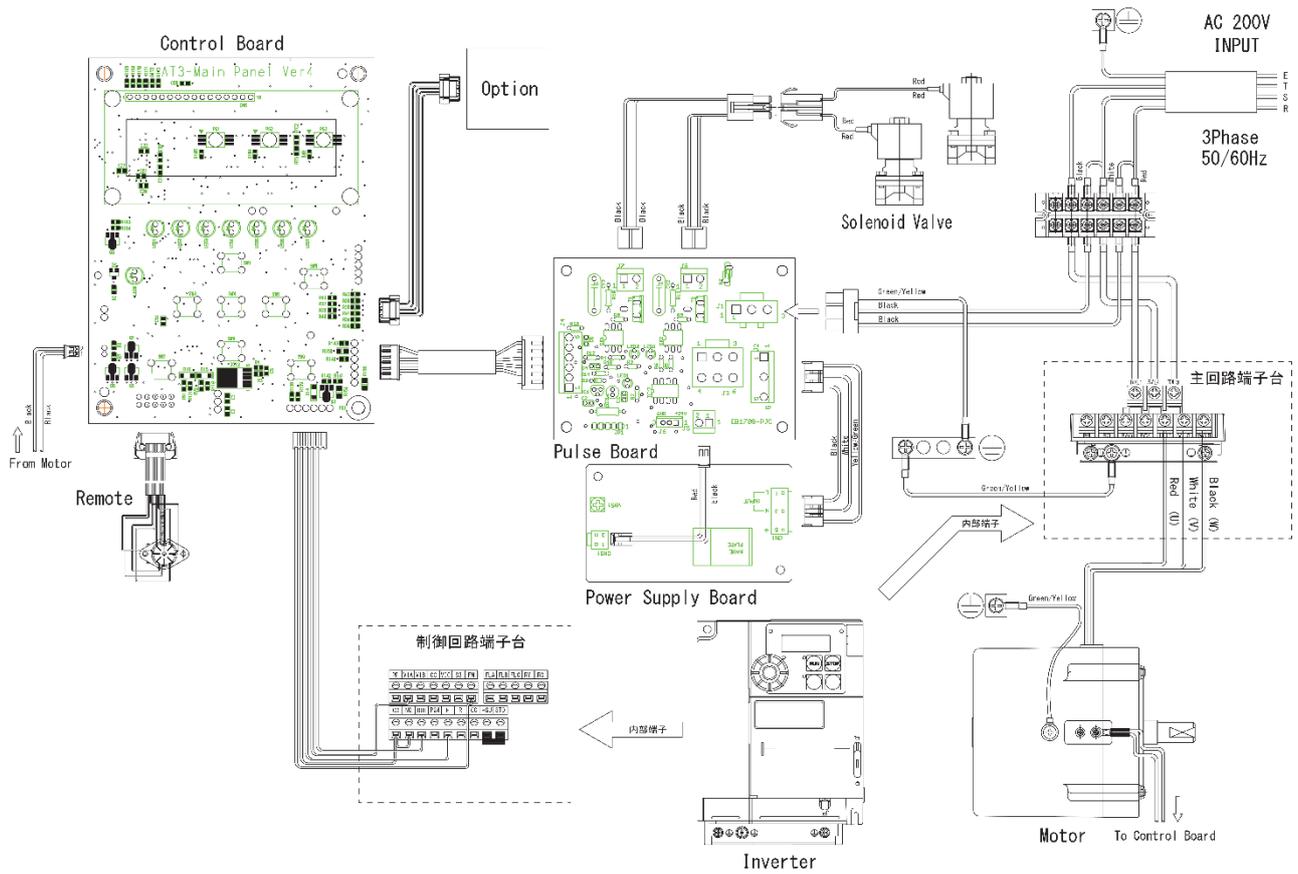
### 7.2 消耗品リスト

品名	交換周期*1	CMP-750AT3N (-V1) (-WIP)	CMP-1500AT3N (-V1) (-WIP)	CMP-2200AT3
帯電防止ビニール袋	6~12カ月	DP-1055-450E	DP-1055-450E	—
1次フィルター	6~12カ月	CS-175-300- 63P-R	CS-175-500- 63P-R	CS-180-500- 83P-R
インバーター冷却吸気 フィルター	6~12カ月	PS/300N (100×125)	PS/300N (100×125)	CMF-1011-13
インバーター冷却排気 HEPAフィルター (V1仕様)	6~12カ月	HEP-1293-34	HEP-1293-34	—
排気HEPAフィルター (V1仕様)	6~12カ月	HEP-5040-80	HEP-5040-80	—

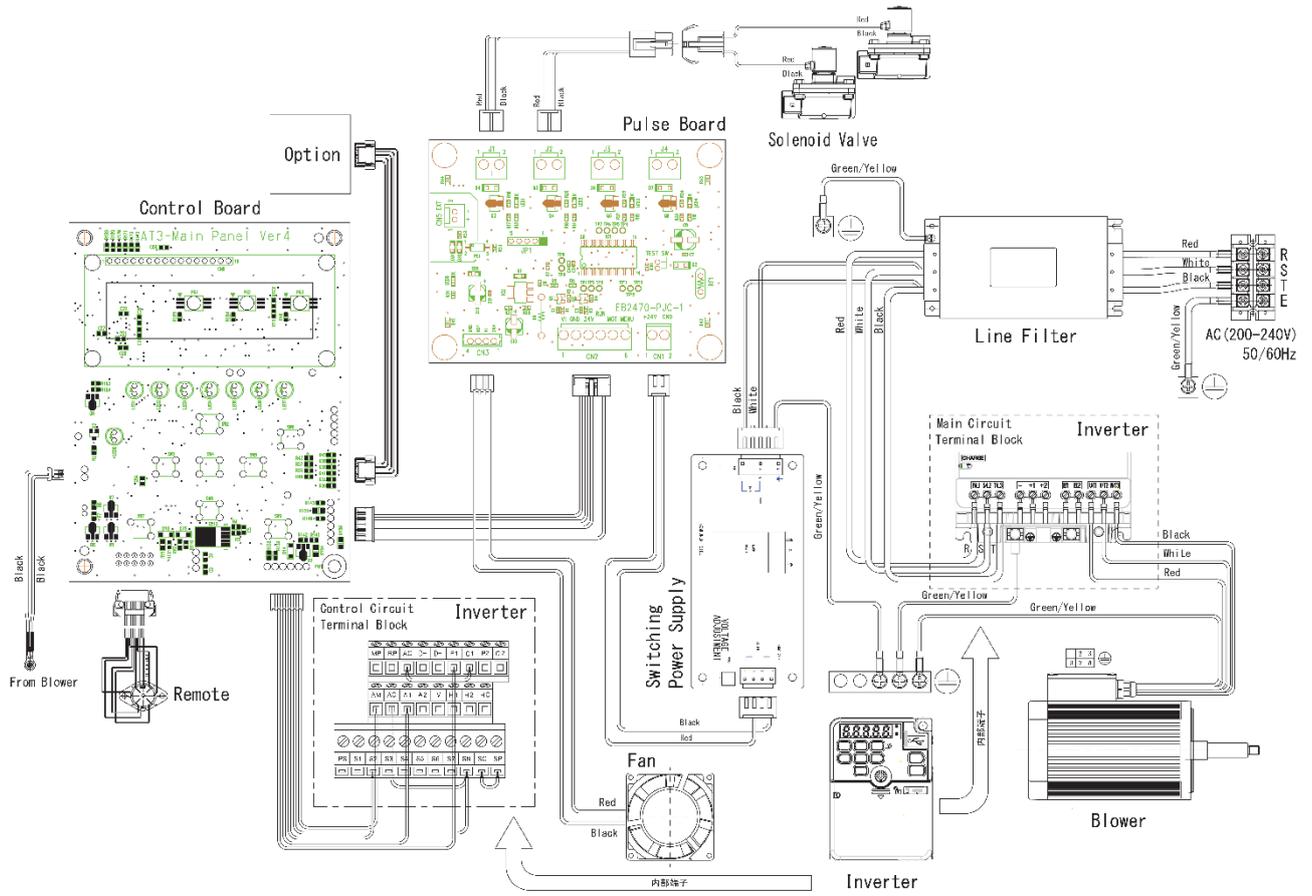
\*1: 交換周期はお客様の使用頻度、環境、吸い込み濃度(材質と成分)によって変わります。

# 7.3 電気回路図

## 7.3.1 CMP-750AT3N/CMP-1500AT3N



### 7.3.2 CMP-2200AT3



## ■保証と責任の範囲

### ●保証期間

正常な使用状態で、故障または損傷が生じた場合には、出荷後12ヶ月間は無料で修理いたします。ただし、7.2 消耗品リストに記載の消耗品は除きます。

📄 「7.2 消耗品リスト」

下記のような場合は保証期間内でも有償とさせていただきます。

- 本書に記載されている注意事項を順守しなかった場合に発生した故障または損傷の場合
- 本書に記載されている使用環境以外での使用による故障または損傷の場合
- 弊社および弊社指定の販売店以外で修理・改造・分解等をした場合
- 使用中に生じたキズ、汚れなどの外観上の変化の場合
- 消耗品・付属品の交換および弊社指定以外の部品を使用した場合
- お買い上げ後の落下、および運送上の事故による故障または損傷の場合
- 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、電圧異常およびその他の天変地異を原因とする故障または損傷の場合

### ●修理について

出張修理をご希望の場合、出張料金は、保証期間内外を問わず有料となります。

修理の都合により、修理時に改良部品を使用する場合がございます。

本機の故障による損害、データの抹消による損害、その他本機の使用により生じた損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。

## ■お買い上げメモ

型 式		製造番号
購入年月日		運転開始日                      年                      月
お客様お名前		
住所	電話 担当者	

# Table of contents

<b>Chapter 1 Product Usage Precautions .....</b>	<b>37</b>
1.1 Safety Notations .....	37
1.2 Precautions for Transport, Storage, and Relocation.....	37
1.3 Precautions for Installation .....	37
1.4 Precautions for Operation .....	38
1.5 Other Precautions.....	38
1.6 Safety Label Locations .....	39
1.6.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP) .....	39
1.6.2 CMP-2200AT3 .....	40
<b>Chapter 2 Components Identification .....</b>	<b>41</b>
2.1 Accessories .....	41
2.2 Device Body.....	42
2.2.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP) .....	42
2.2.2 CMP-2200AT3 .....	43
2.3 AT3 Panel .....	44
2.4 Display Indications.....	45
2.4.1 About Modes .....	45
2.4.2 Indications during Stoppage .....	45
2.4.3 Indications during Operation.....	46
<b>Chapter 3 Operation.....</b>	<b>47</b>
3.1 Start-up Preparation.....	47
3.1.1 Installation .....	47
3.1.2 Wiring and Piping .....	48
3.2 Operation.....	48
3.3 Registering Initial Pressures.....	49
<b>Chapter 4 Configuring Settings.....</b>	<b>50</b>
4.1 Screen Transitions in MODE SELECT Mode.....	50
4.2 Communication Format Setting Mode (When Equipped with Communication Function) .....	50
4.3 Air Volume-Down Alert Timing Setting Mode .....	50
4.4 Pulse control setting mode.....	51
4.5 Other Setting Mode.....	52
4.5.1 Accumulated Run Time Reset Mode .....	52
4.5.2 Setpoint Reset Mode .....	52
4.6 Error Checking Mode.....	52
<b>Chapter 5 Maintenance and Checkup.....</b>	<b>53</b>
5.1 Replacing Filters.....	53
5.1.1 Replacing the dust tray (plastic bag) (For 750 or 1500) .....	53
5.1.2 Cleaning the dust tray (for 2200) .....	53
5.1.3 Replacing the Primary Filter (For 750/1500) .....	54
5.1.4 Replacing the Primary Filter (For 2200) .....	54
5.1.5 Replacing the Exhaust Filter (-V1 specification only) .....	55
5.1.6 Replacing Inverter cooling intake/exhaust filter (For 750/1500) .....	56
5.1.7 Replacing Inverter cooling intake/exhaust filter (For 2200) .....	57
5.2 Daily Checkup .....	57
5.4 Daily Care Method .....	57
5.5 Errors/Warnings.....	58
5.5.1 Action on Errors/Warnings .....	58
5.5.2 Error/Warning Table .....	59
5.6 Troubleshooting.....	60

<b>Chapter 6 Useful Utilization (Optional)</b> .....	<b>61</b>
6.1 Remote Cable .....	61
6.1.1 Standard Connection Diagram .....	61
6.1.2 Pin Assignments.....	63
6.1.3 Remote Operation .....	64
6.2 Communication Function .....	64
6.2.1 RS-485 Communication .....	64
6.2.2 Ethernet.....	64
<b>Chapter 7 Appendix</b> .....	<b>65</b>
7.1 Specifications.....	65
7.2 Consumables List .....	65
7.3 Electrical Diagram .....	66
7.3.1 CMP-750AT3N / CMP-1500AT3N .....	66
7.3.2 CMP-2200AT3 .....	67

# Chapter 1 Product Usage Precautions

## 1.1 Safety Notations

This instruction manual describes usage precautions with the below listed symbols.  
Be sure to read the instructions.

Symbol	Meaning
 <b>WARNING</b>	Indicates a hazardous situation which, if not avoided, could result in personal death or serious injury.
 <b>CAUTION</b>	Indicates a hazardous situation which, if not avoided, could result personal injury or damage to the device.
	Indicates a prohibited action (which MUST NOT be done).
	Indicates a mandatory action (which MUST be done).

## 1.2 Precautions for Transport, Storage, and Relocation

 <b>WARNING</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Transportation must be done using at least two people. Injury may result due to tumbling hazard.</li> </ul>
 <b>CAUTION</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Relocation and storage must be done in a safe location within the temperature range of -10°C to 60°C at relative humidity of 80% or less.</li> </ul>

## 1.3 Precautions for Installation

 <b>WARNING</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Do not install the device in or around an area with flammable, explosive, or corrosive mist, smoke, or gases.</li> </ul>
 <b>CAUTION</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>This device is designed for installation in a cleanroom or a clean factory. Avoid installation in other areas, such as outdoors.</li> <li>Ensure a wide suction port. If the device is used continuously with a narrow suction port (i.e., at high pressure), the motor may become hot as it cannot be cooled.</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>Install the device in a horizontal, vibration-free location as it contains rotating equipment.</li> <li>Install the device at normal temperature (ambient temperature 0°C to 40°C, at humidity 80% or less) without dew condensation. High temperature or dew condensation may cause failure of electrical components or electric shock.</li> <li>Beware that suction ambient temperature (temperature around the dust to be collected) is low enough, because otherwise the motor may lead to performance reduction or failure.A</li> <li>Provide a sufficient space for the exhaust port (at least 100 mm from the exhaust port). If the exhaust port is blocked, the proper suction power cannot be delivered. Furthermore, sufficient cooling is not provided in the box, causing burnout of the</li> </ul>

		<p>motor or failure of electrical components.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• The installation site should be at an altitude of 1,000 m or less.</li> </ul>
--	--	--

## 1.4 Precautions for Operation

 <b>WARNING</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Do not suck the following substances:                      Flammable substances..... Gasoline, thinner, benzine, kerosene, paints, etc.                      Explosive dusts ..... Aluminum, magnesium, titanium, zinc, epoxy, etc.                      Sparky dust..... Dust containing sparks from high-speed cutting machine, grinder, welding machine, etc.                      Fire source ..... Cigarette, and liquid such as oil and chemical                      Others..... Liquid such as water, oil, chemical</li> <li>• Do not use the device in or around an area with flammable, explosive, or corrosive mist, smoke, or gases.</li> <li>• Ensure secure connections, without bending or pulling cables with excessive force. Fire or electric shock may result.</li> <li>• Ensure that the power supply conforms to the specifications of the device.</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Use the device to suck dry dust without potential dust explosion.</li> <li>• Be sure to connect the ground wire.</li> </ul>

 <b>CAUTION</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Do not move the device while in operation.</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Use the device in locations of pollution degree 2.</li> <li>• Use a power supply of overvoltage category III.</li> <li>• Turn off the main power switch in case of power outage. Injury or device damage can occur when power returns.</li> <li>• Ensure that filters are installed correctly. If filters are missing, clogged, or broken, foreign matter may enter the motor, causing failure.</li> </ul>

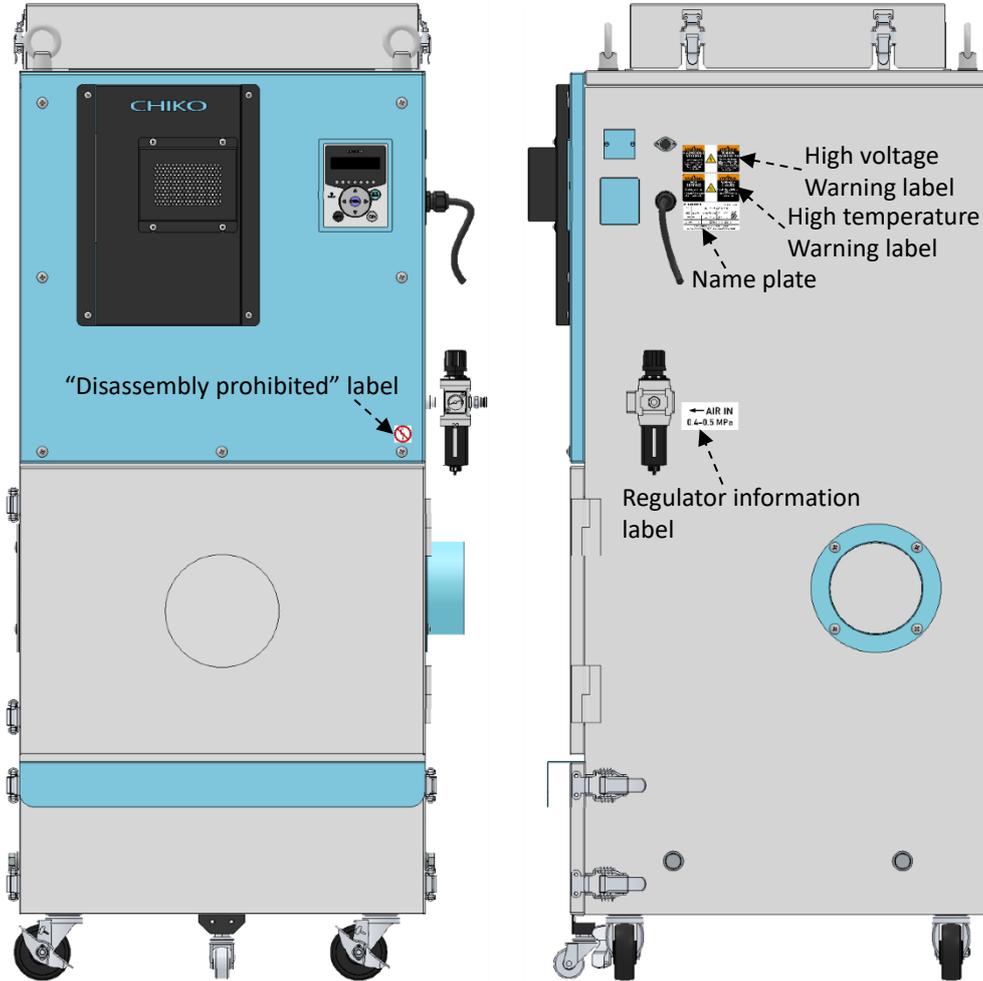
## 1.5 Other Precautions

 <b>WARNING</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Do not disassemble or alter the device. Failure to observe can cause electric shock or injury. For internal checkup or repair, contact your dealer.</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Follow the information in the instruction manual when performing installation, connection, starting, operation, checkup, and fault diagnosis. Working in a wrong manner may lead to fire, electric shock, or injury.</li> </ul>

 <b>CAUTION</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• When discarding the device, dispose of it appropriately as an industrial waste.</li> </ul>
--	---	---

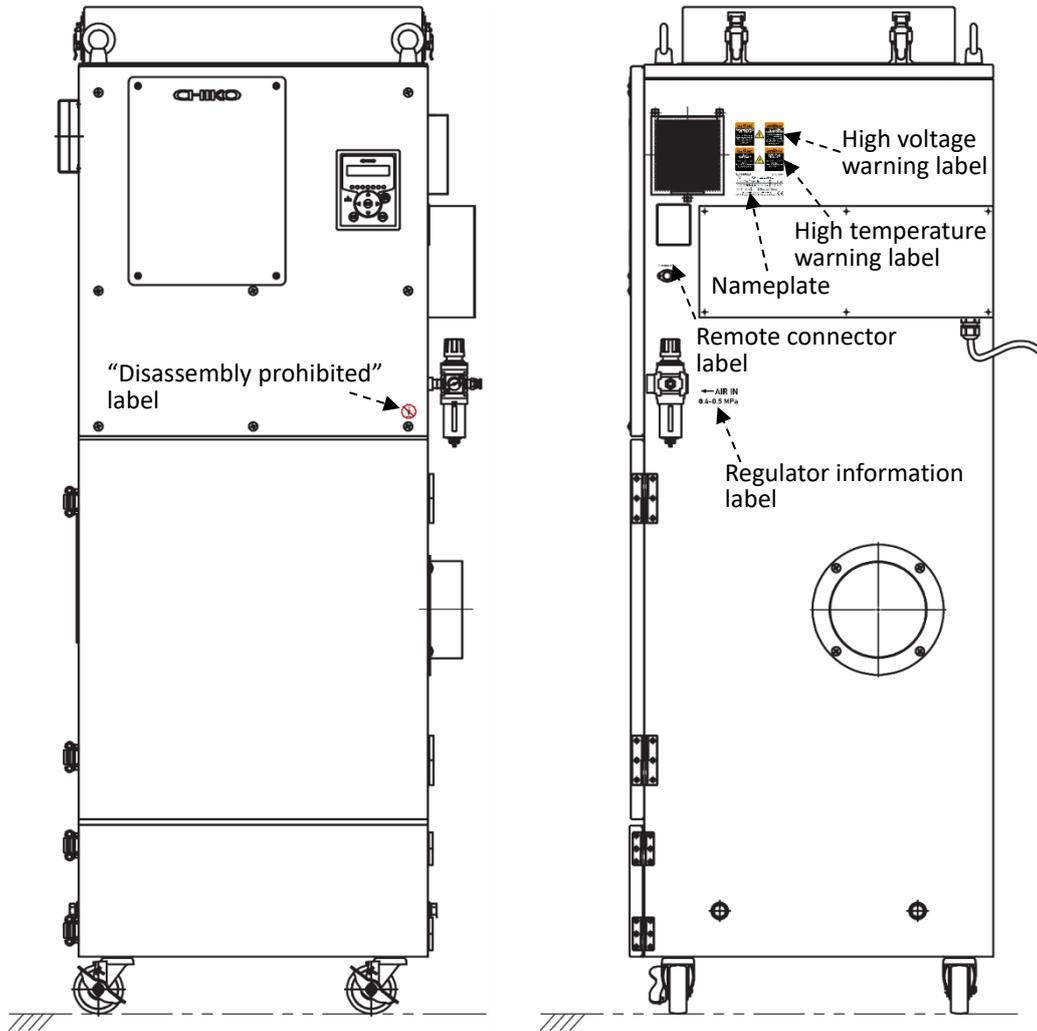
# 1.6 Safety Label Locations

## 1.6.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP)



<p>High voltage Warning label</p>	<p>High temperature Warning label</p>
<p>Nameplate</p>	<p>Regulator information label</p>
<p>“Disassembly prohibited” label</p>	

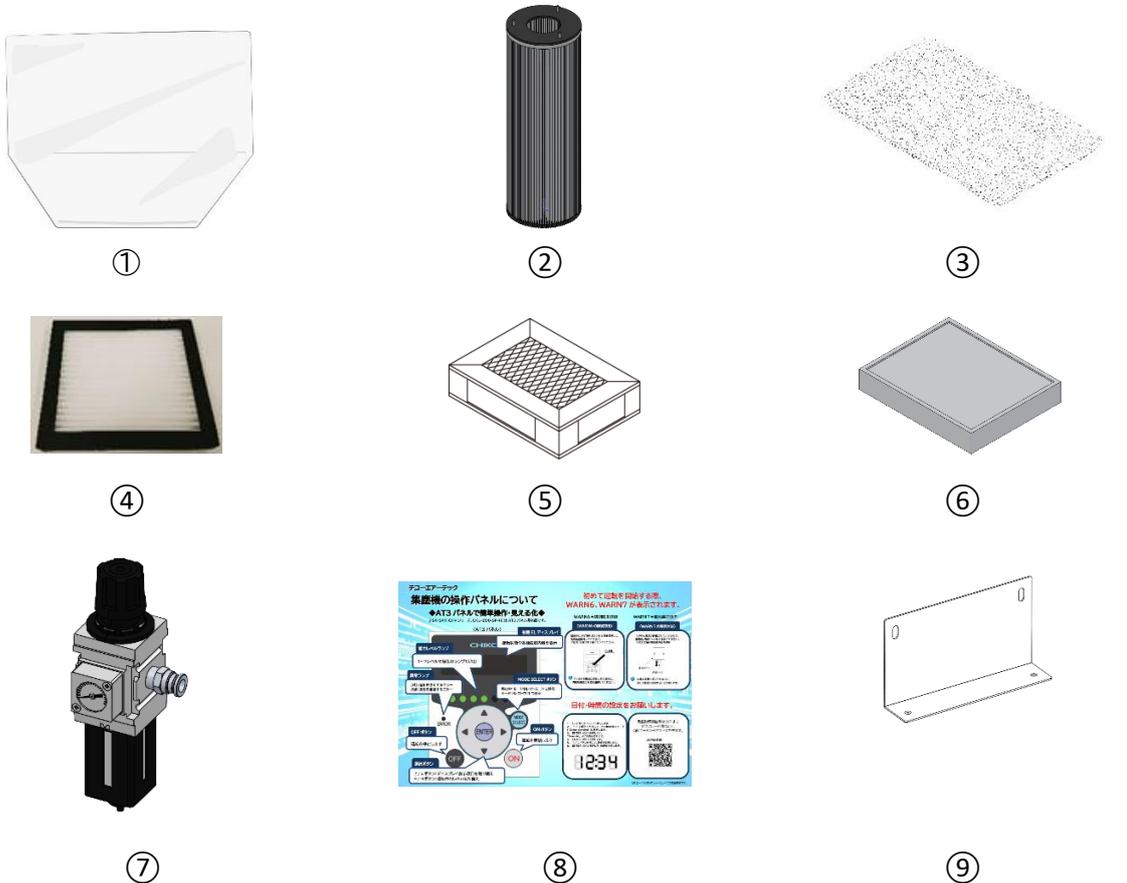
### 1.6.2 CMP-2200AT3



<p>High voltage Warning label</p>	<p>High temperature Warning label</p>
<p>Nameplate</p>	<p>Regulator information label</p>
<p>“Disassembly prohibited” label</p>	<p>Remote connector label</p>
	<p>For Remote cable</p>

# Chapter 2 Components Identification

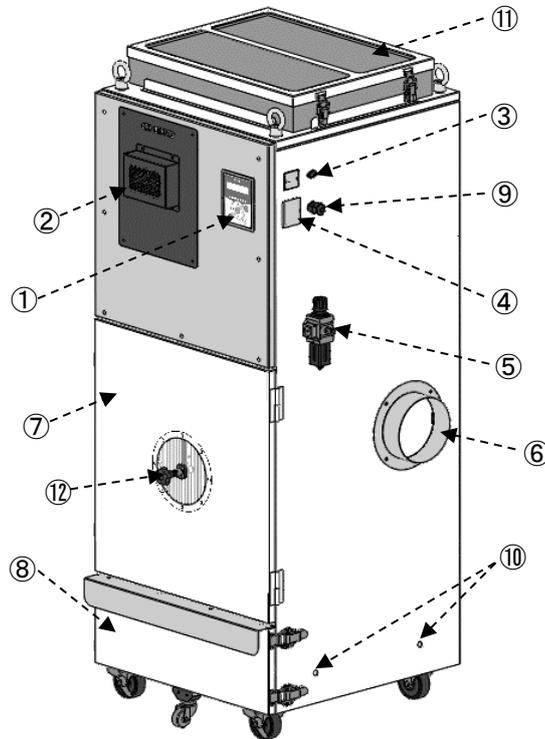
## 2.1 Accessories



No.	Name	Function	Qty.
①	Antistatic plastic bag	Stores collected dust	1
②	Primary filter	Collects dust	4
③	Inverter cooling intake/exhaust filter (CMP-750/CMP-1500AT3N)	Protects electric parts from dust	1
④	Inverter cooling intake/exhaust filter (CMP-2200AT3)	Protects electric parts from dust	2
⑤	Inverter cooling intake/exhaust HEPA filter	Cleans exhaust (-V1 specification only)	1
⑥	Exhaust HEPA filter	Cleans exhaust (-V1 specification only)	1
⑦	Filter regulator	Adjust the pressure of compressed air	1
⑧	Instruction guide	Provides instructions for using the device.	1
⑨	Bracket	Jig for fixing the dust collector on the ground.	2

## 2.2 Device Body

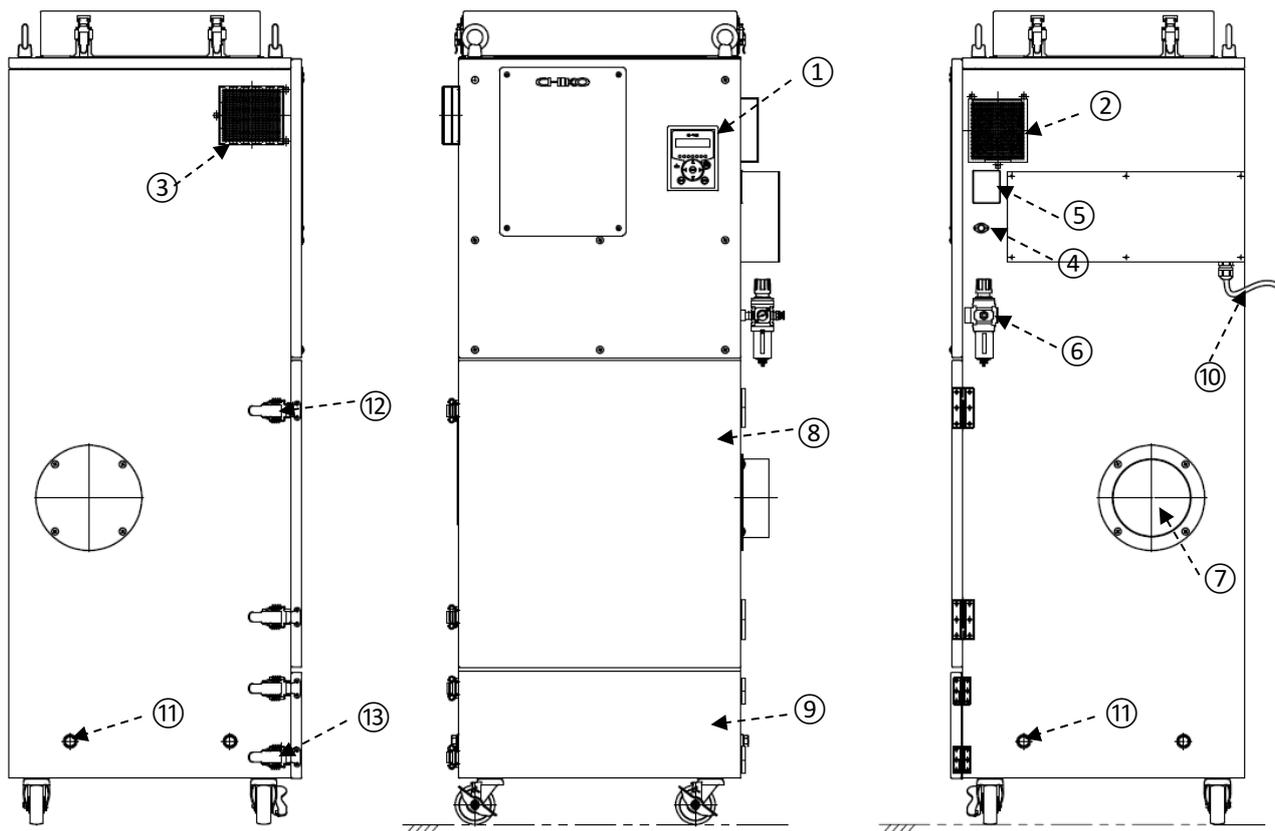
### 2.2.1 CMP-750/1500AT3N(-V1)(-WIP)



No.	Name	Function
①	AT3 panel (operation panel)	Operates the device.
②	Inverter cooling intake/exhaust filter storage cover	Inverter cooling intake and exhaust filters are housed. The V1 specification houses a HEPA filter. (*)
③	Remote connector	Connects a remote cable (optional).
④	Communication board installation point	Communication board (sold separately) installed here.
⑤	Filter regulator installation point	Filter regulator (included) installed here.
⑥	Suction port	Connects a suction duct.
⑦	Primary filter chamber	Houses the primary filter.
⑧	Dust tray	Houses the antistatic plastic bag.
⑨	Power cable	The shape varies depending on the power supply specifications.
⑩	Mounting holes for anchor fittings	Dust collector held in place with anchor fittings.
⑪	Exhaust HEPA filter(-V1*)	Cleans exhaust.
⑫	Inspection window wiper (-WIP*)	Removes zeolite and dust adhering to inspection window.

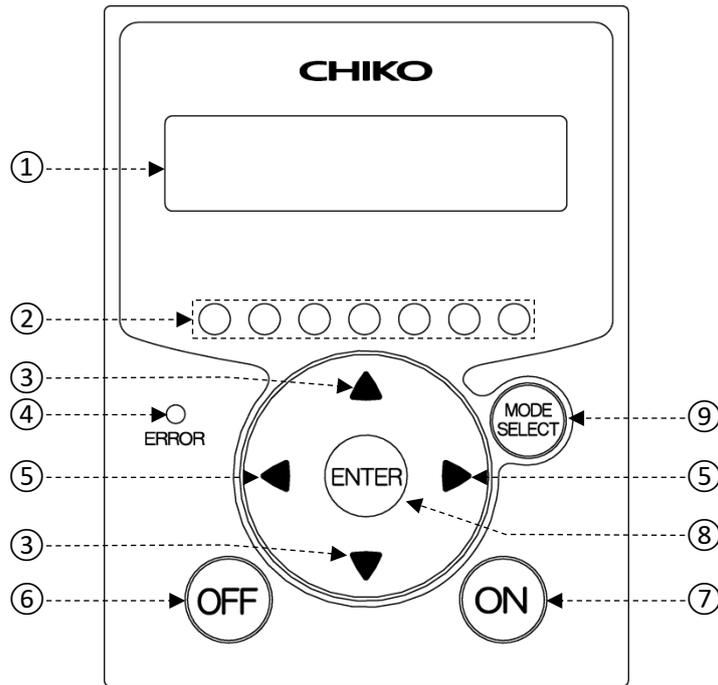
\* Option types

## 2.2.2 CMP-2200AT3



No.	Name	Function
①	AT3 panel (operation panel)	Operates the device.
②	Inverter cooling intake filter storage cover	Inverter cooling intake filter is housed.
③	Inverter cooling exhaust filter storage cover	Inverter cooling exhaust filter is housed.
④	Remote connector	Connects a remote cable (optional).
⑤	Communication board installation point	Communication board (sold separately) installed here.
⑥	Filter regulator installation point	Filter regulator (included) installed here.
⑦	Suction port	Connects a suction duct.
⑧	Primary filter chamber	Houses the primary filter.
⑨	Dust box	Houses the dust tray.
⑩	Power cable	The shape varies depending on the power supply specifications.
⑪	Mounting holes for anchor fittings	Dust collector held in place with anchor fittings.
⑫	Snap lock	Fix the primary filter chamber door.
⑬	Snap lock	Fix the dust box door.

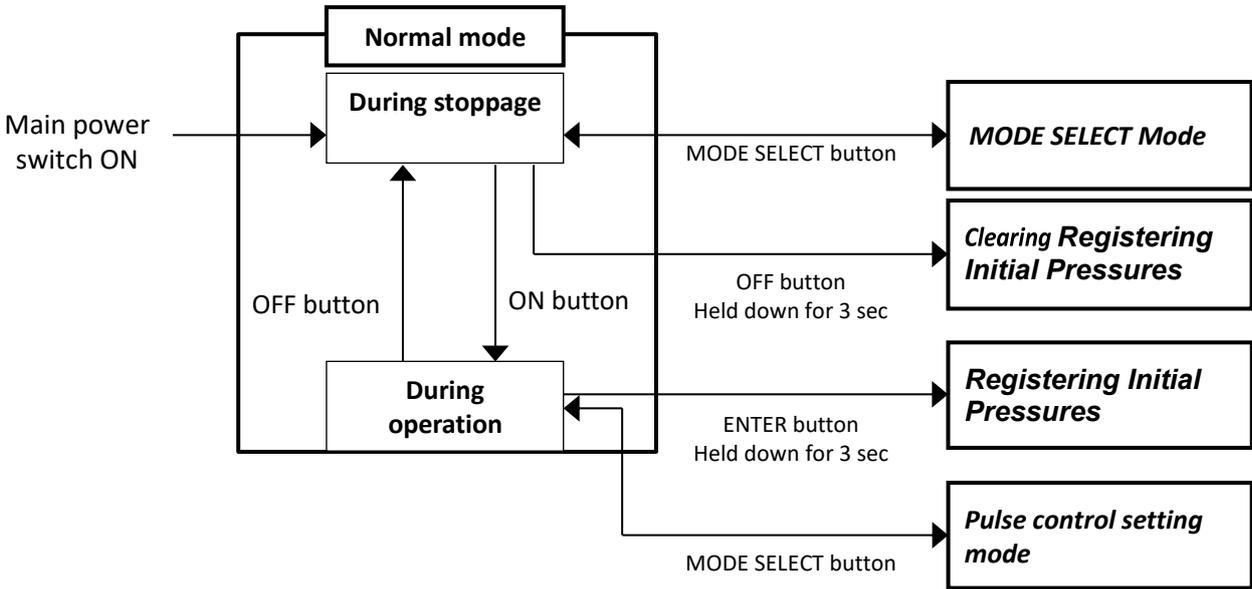
## 2.3 AT3 Panel



No.	Name	Function
①	Organic EL (OLED) display	Displays the operating status and various settings. Displays an error or warning number in case of an error or warning.
②	Suction power level lamps	Green lamps indicate a suction power level (1 to 7).
③	Up/Down arrow buttons	During stoppage or operation, switches among the content of the display. ☞ "2.4 Display Indications" In MODE SELECT mode, cycles through parameters and changes numeric data. ☞ "Chapter 4 MODE SELECT Mode"
④	ERROR lamp	The red lamp lights upon detection of an error that stops device operation. The red lamp flickers upon detection of an error or warning that continues device operation.
⑤	Left/Right arrow buttons	During operation, each pressing of the Left (or Right) arrow button changes the suction power to the next lower (or higher) level. During MODE SELECT mode, each pressing of the Left (or Right) arrow button moves the cursor left (or right) to the next position.
⑥	OFF button	Stops the operation. During stoppage, holding this button down for three seconds clears the registered initial pressure. ☞ "3.3 Registering Initial Pressures"
⑦	ON button	Starts operation.
⑧	ENTER button	During operation, holding this button down for three seconds causes transition to initial pressure registration. ☞ "3.3 Registering Initial Pressures" During SELECT MODE mode, determines the selected parameter and its numeric data. ☞ "Chapter 4 MODE SELECT Mode"
⑨	MODE SELECT button	During stoppage, transits to the MODE SELECT mode. ☞ "Chapter 4 MODE SELECT Mode" During MODE SELECT mode, returns to the previous mode. During an error/warning, transits to the error checking mode or error clear mode.

# 2.4 Display Indications

## 2.4.1 About Modes

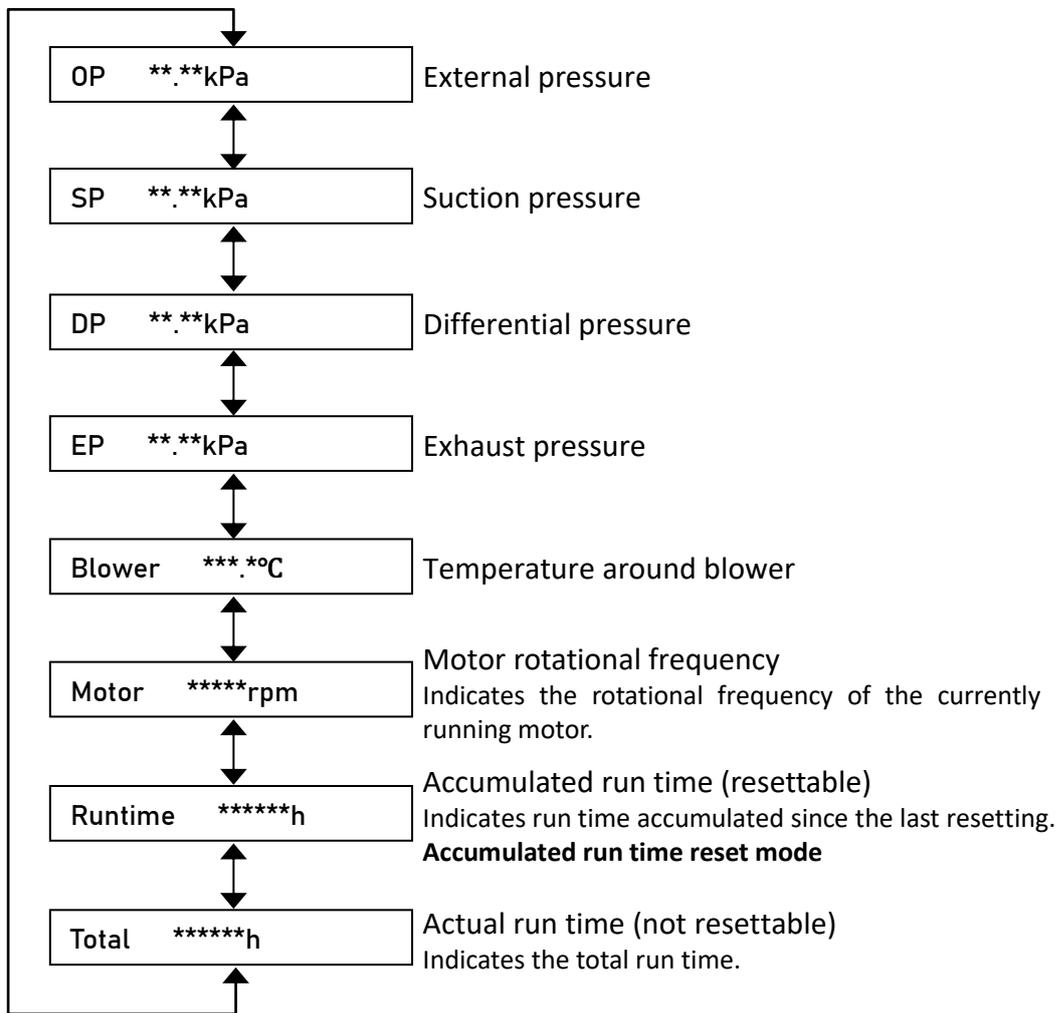


## 2.4.2 Indications during Stoppage

Ver*. **	ID. **	Program version, RS-485 communication ID
----------	--------	--

### 2.4.3 Indications during Operation

The Up/Down arrow buttons cycle through indications.



# Chapter 3 Operation

## 3.1 Start-up Preparation

### 3.1.1 Installation

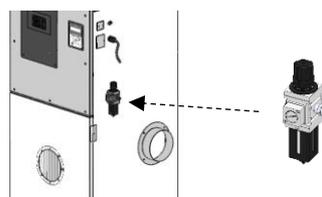
#### ■ Installation location

To ensure operating safety and deliver the full performance of the device, install the device in a location that meets the following conditions:

Item	Description
Ambient temperature	0° to +40°C
Ambient humidity	80 RH% or lower (without dew condensation)
Ambient conditions	Indoors (not exposed to direct sunlight), free of corrosive/flammable gases, oil mist, and dust.

#### ■ Installing the filter regulator

Install the filter regulator into the installation position.



### 3.1.2 Wiring and Piping

#### ■ Wiring

 <b>WARNING</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Perform wiring firmly, without bending or pulling cables with excessive force. Fire or electric shock may result.</li> <li>• Ensure that the power supply conforms to the specifications of the device.</li> </ul>
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Be sure to connect the ground wire.</li> </ul>
 <b>CAUTION</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Avoid multiple connections as they can cause voltage reduction. At reduced voltage, the device may fail to operate normally, resulting in failure.</li> </ul>

The device is powered by three-phase supply.

Acceptable service voltage range is 180 to 220 V.

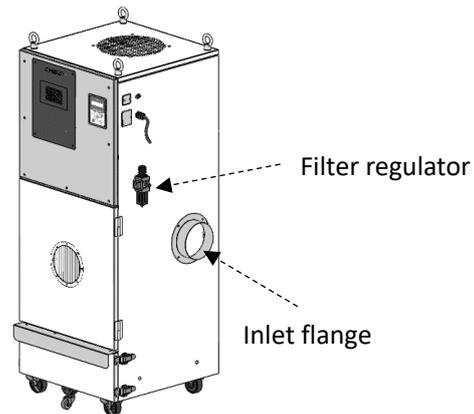
(CMS-2200AT3 is 180-253V.)

Connect the power supply side of the power cable to the power source.

(Use a circuit breaker to protect against overcurrents.)

#### ■ Piping

1. Connect the intake piping (separately prepared) to the inlet flange.
2. Connect the  $\phi 8$  air tube to the filter regulator.  
Recommended air pressure 0.4MPa to 0.5MPa.



#### IMPORTANT

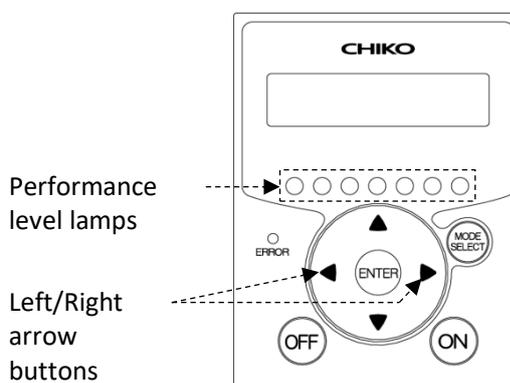
- Ensure appropriate piping during operation. The piping should be as short as practicable, with the piping port diameter not too small.

## 3.2 Operation

1. Turn ON the circuit breaker.  
The display indicates the program version and the ID for RS-485 communication.
2. Press the ON button on the AT3 panel.  
The device starts operation.
3. Check that abnormal noise is not generated and the suction is appropriate

Ver*. **	ID. **
----------	--------

4. Set a desired suction power level by pressing the Left/Right arrow buttons. The suction power is indicated by the suction power level lamps (1 to 7).

**IMPORTANT**

- Switch ON/OFF after an interval of 3 or more minutes. Repeatedly switching ON/OFF within 3 minutes (especially within 30 seconds) may cause a malfunction.
- Do not stop the operation of the equipment by switching OFF the circuit breaker except in an emergency. Repeated use may cause malfunction.

### 3.3 Registering Initial Pressures

Air volume reduction due to filter clogging is judged based on a registered initial differential pressure and indicated as low air volume (WARN4). Register initial pressures through these steps:

1. Perform the wiring and piping of the device.
2. Start the device at a desired suction power level.
3. Press and hold down the ENTER button for three seconds. The display shows "Initial DP Get Y", prompting confirmation to register/update initial pressures.
4. To proceed with registration/update, press the ENTER button. The device starts to acquire initial pressure. If you do not want update, press the MODE SELECT button to return to normal operation.
5. The device runs through a sequence of suction power levels 1 to 7, to automatically acquire the differential pressure for each level. While the device is acquiring initial pressures, the display alternates between the "Initial DP Check" message and the "suction power level and differential pressure" values.
6. When the registration completes, the display shows the "Initial DP Entry" message and the device returns to normal operation.

**IMPORTANT**

- Ensure that the filters are new.
- Update registered initial pressures once again if piping is changed or all filters are replaced (except for the exhaust filter) after registration of initial pressures.
- If initial pressures are not registered, an "initial pressure unregistered" warning (WARN6) appears.
- The registered initial pressures can be cleared by holding down the OFF button for three seconds when the device is in stop state.

#### ● Clearing registered initial pressures

1. Hold down the OFF button for three seconds when the device is in stop state. The display shows "Initial DP Clr Y", prompting confirmation to clear registered initial pressures.
2. To clear them, press the ENTER button. If you do not want to clear them, press the MODE SELECT button to return to normal operation.
3. When the clearing completes, the display shows the "Initial DP Clr" message.

---

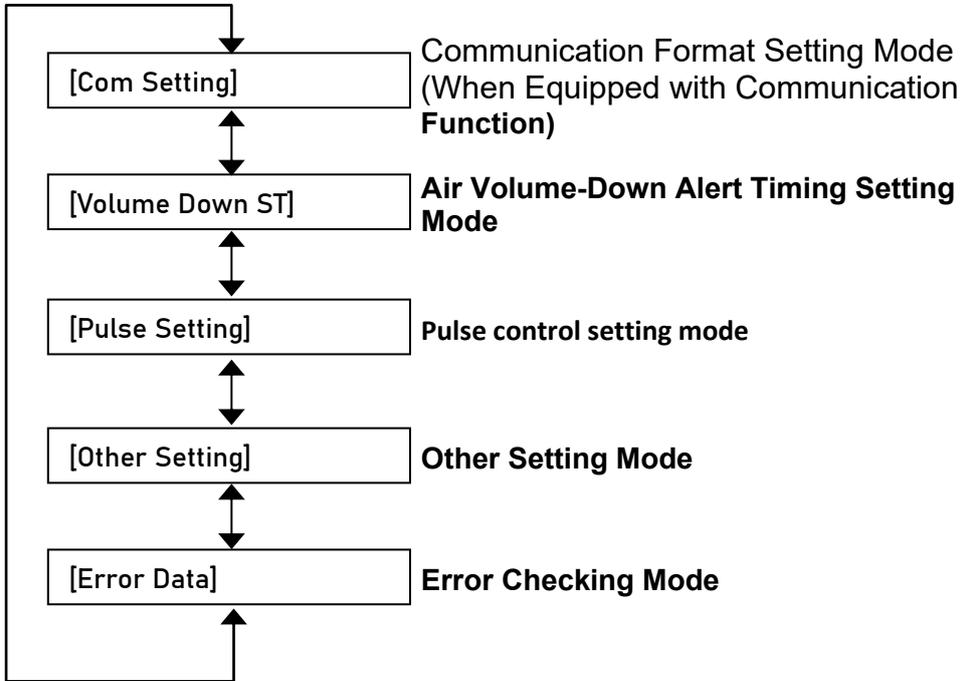
# Chapter 4 Configuring Settings

---

## 4.1 Screen Transitions in MODE SELECT Mode

---

To move to the MODE SELECT mode, press the MODE SELECT button during stoppage.  
The Up/Down arrow buttons cycle through parameters.



## 4.2 Communication Format Setting Mode (When Equipped with Communication Function)

---

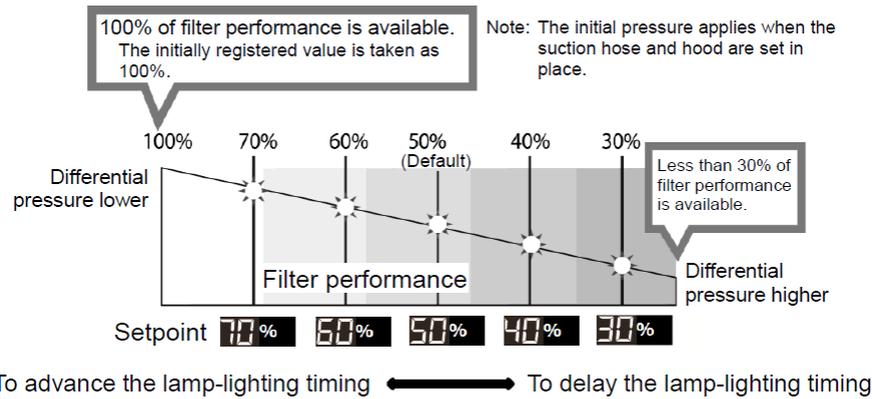
For information on configuring communication format settings, refer to the separate document “AT3 Communication Specifications”.

## 4.3 Air Volume-Down Alert Timing Setting Mode

---

This mode allows for changing the timing for displaying an air volume-down warning (WARN4) as desired.

1. Move to the MODE SELECT mode.
2. Press the Up/Down arrow buttons to move to the air volume-down alert timing setting mode (“Volume Down ST”).
3. Press the ENTER button.  
The current setting appears.  
The default is 50%, displayed as “3: Down to 50%”.
4. Press the Up/Down arrow buttons to select a timing between 30 to 70%.  
A lower setting causes the air volume-down alert to occur later, and vice versa.



5. Press the ENTER button to determine the setting.
6. To exit this mode, press the MODE SELECT button to return to normal mode.

## 4.4 Pulse control setting mode

Sets Pulse control interval time and AUTO enable/disable.

### ■ Interval time

1. Press the MODE SELECT button.
2. Press  $\uparrow$  or  $\downarrow$  to switch to Pulse control setting mode [Pulse Setting].  
(This step is omitted if the unit is in operation. Go to Step 3.)
3. Press the Enter button. The confirmation screen for interval time is shown and current settings are displayed.  
The standard factory setting is 15 minutes.
4. Press the Enter button. Switches to the settings screen.
5. Press  $\leftarrow$  or  $\rightarrow$  to move the 3-digit cursor. Press  $\uparrow$  or  $\downarrow$  to change value.
6. Press the Enter button to set value.
7. To exit this mode, press the MODE SELECT button to return to normal mode.

### ■ AUTO enable/disable

1. Press the MODE SELECT button.
2. Press  $\uparrow$  or  $\downarrow$  to switch to Pulse control setting mode [Pulse Setting].  
(This step is omitted if the unit is in operation. Go to Step 3.)
3. Press the Enter button. The confirmation screen for interval time is shown and current settings are displayed.
4. When  $\uparrow$  or  $\downarrow$  is pressed, the AUTO setting confirmation screen is displayed and the current settings are shown.  
The standard factory setting is [NO] for the AUTO setting.
5. Press the Enter button. Switches to the settings screen.
6. Use the  $\uparrow$  or  $\downarrow$  key to select "Yes" or "No" for the \*AUTO setting.
7. Press the Enter button.
8. To exit this mode, press the MODE SELECT button to return to normal mode.

\*AUTO setting: "WARN4" pulses if insufficient airflow is detected.

## 4.5 Other Setting Mode

---

The parameters listed below can be set.

- Accumulated run time resetting  
    ☞ “4.5.1 Accumulated Run Time Reset Mode”
- Setpoint resetting  
    ☞ “4.5.2 Setpoint Reset Mode”

### 4.5.1 Accumulated Run Time Reset Mode

This mode resets the accumulated run time (“Runtime”).

1. Move to the MODE SELECT mode.
2. Press the Up/Down arrow buttons to move to the other setting mode (“Other Setting”).
3. Press the ENTER button.  
    The screen displays “Time Adjust”.
4. Press the Up/Down arrow buttons to change the display to “[Runtime Reset]”.
5. Press the ENTER button.  
    The display shows “Reset Runtime Y”, prompting confirmation to reset the accumulated run time.  
    To reset, press the ENTER button.
6. To exit this mode, press the MODE SELECT button to return to normal mode.

### 4.5.2 Setpoint Reset Mode

Restore standard factory settings for communication format, timing of notification of insufficient airflow, pulse control interval time and AUTO setting, and reset the cumulative operating time.

1. Move to the MODE SELECT mode.
2. Press the Up/Down arrow buttons to move to the other setting mode (“Other Setting”).
3. Press the ENTER button.  
    The screen displays “Time Adjust”.
4. Press the Up/Down arrow buttons to change the display to “[Setting Reset]”.
5. Press the ENTER button.  
    The display shows “1:YES”, prompting confirmation to reset setpoints.  
    To reset, press the ENTER button.
6. The display shows “1:START” for reconfirmation.
7. Press the ENTER button to reset the setpoints and move the device to normal mode.

## 4.6 Error Checking Mode

---

The error history allows for checking four occurrences of errors.

The error history is cleared by turning off the power switch.

1. Move to the MODE SELECT mode.
2. Press the Up/Down arrow buttons to move to the error checking mode.
3. Press the ENTER button.  
    The display indicates the number of the most recent error that has occurred and the accumulated run time at that occurrence.
4. Press the Down arrow button to display the history of four errors in order from the latest.
5. To exit this mode, press the MODE SELECT button to return to normal mode.

# Chapter 5 Maintenance and Checkup



**CAUTION**



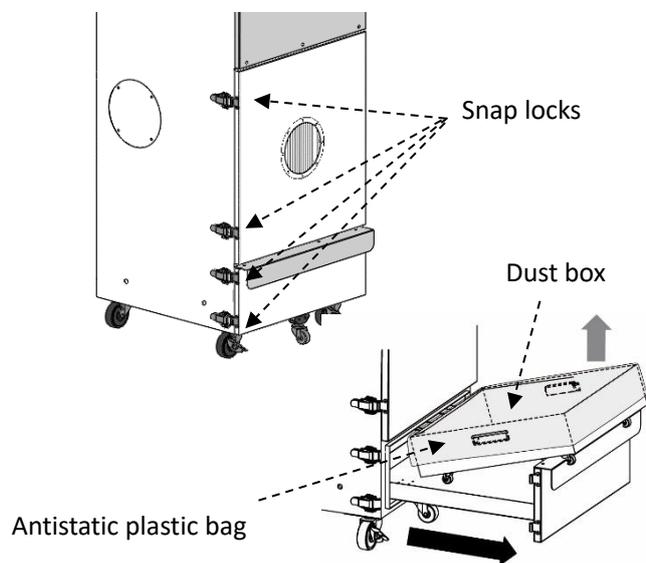
Before starting maintenance and checkup, be sure to break the electrical circuit by turning off the power supply and disconnecting the plug from the power outlet.

## 5.1 Replacing Filters

If clogging occurs, a “WARN2” warning appears. Replace the primary filter.

### 5.1.1 Replacing the dust tray (plastic bag) (For 750 or 1500)

1. Release the four twin-sided snap locks of the dust tray.
2. Pull out the dust tray, remove the dust box and replace the antistatic plastic bag. (Pull the strings at the top of the plastic bag from both sides to seal the opening.)
3. Place the dust box in the dust tray and put it back into the main unit.
4. Reattach the four snap locks.



### 5.1.2 Cleaning the dust tray (for 2200)

1. Remove the dust box door's two snap locks and open the door.
2. Tilt the push-up lever to the right to pull out the dust tray and discard the dust in the tray.
3. Insert the dust tray into the main unit (push it in until it hits the stopper at the back) and raise the push-up lever to secure the dust tray.
4. Secure the dust box door with two snap locks.

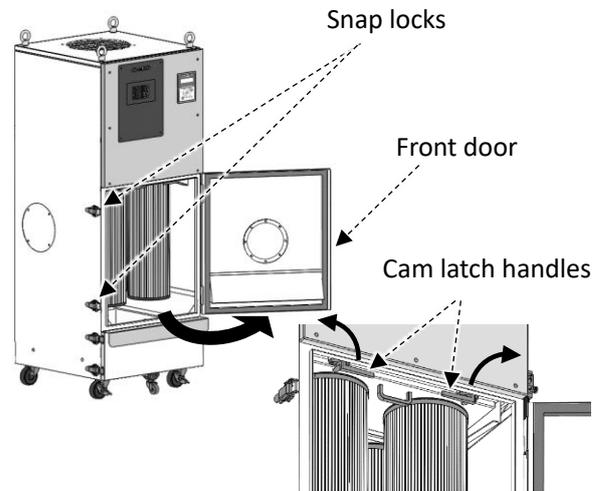


### 5.1.3 Replacing the Primary Filter (For 750/1500)

**IMPORTANT**

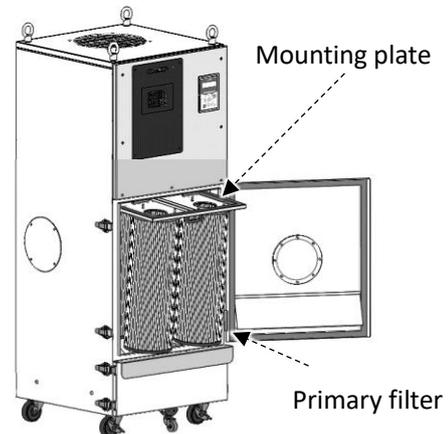
- Replace the primary filter in an area where there is sufficient space for opening the air inlet filter case.

1. Release the two snap locks on the front door.
2. Open the front door and turn the two cam latch handles to unlock.



3. Pull the handle forward and remove the primary filter with its mounting plate.

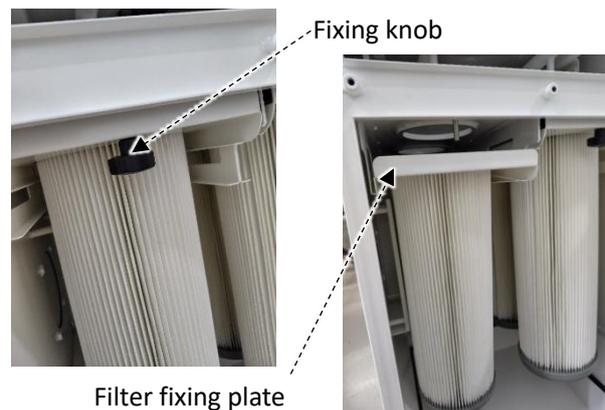
<b>Memo</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• When installing the primary filter, insert the primary filter mounting plate firmly all the way to the back.</li> <li>✂ It can only be locked if positioned correctly.</li> </ul>
-------------	--



4. Remove the primary filter and attach a new primary filter.
5. Insert the primary filter mounting plate into the main unit and lock with the cam latch handle.
6. Close the front door and secure with the two snap locks.
7. Register initial pressure. (See 3.3)

### 5.1.4 Replacing the Primary Filter (For 2200)

1. Remove the two snap locks on the primary filter chamber door.
2. While holding the filter fixing plate by hand, remove the fixing knob and lower the filter fixing plate.



3. Pull out the filter fixing plate and replace the primary filter.  
(Pull it out to the upper side to replace it.)
4. Push the filter fixing plate firmly all the way back into the main unit so that the V-shaped part of the plate is at the back.
5. Lift the filter fixing plate and secure it with the fixing knob.
6. Close the primary filter chamber door and secure it with two snap locks.
7. Register initial pressure. (See 3.3)



### 5.1.5 Replacing the Exhaust Filter (-V1 specification only)



**CAUTION**

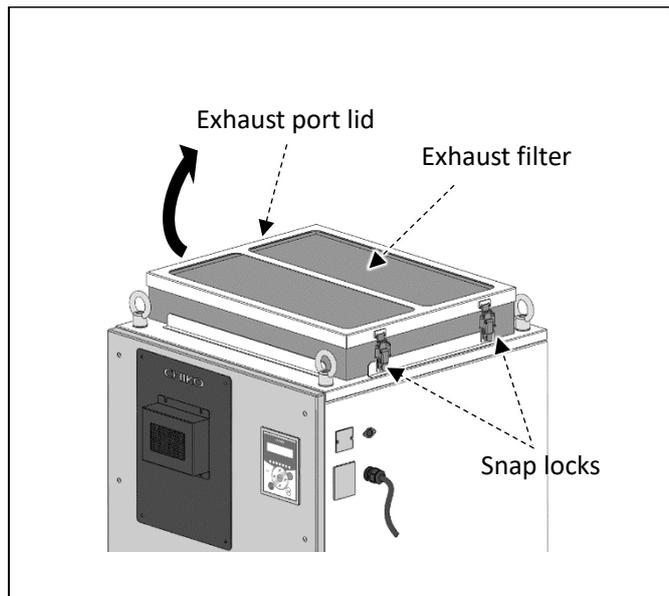


Avoid installing the filter inside out.

**IMPORTANT**

The exhaust filter should be replaced in an area with a large free space.

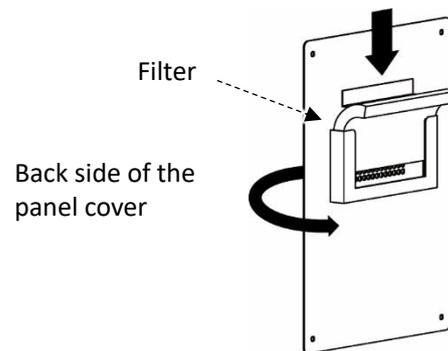
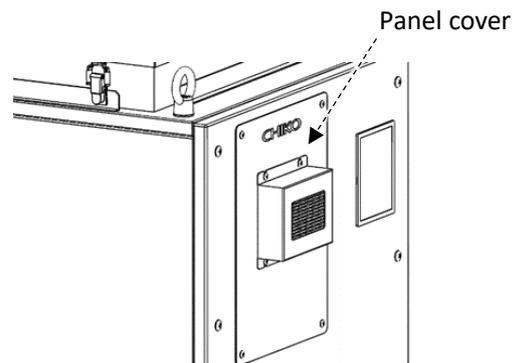
1. Release the four right-and-left snap locks on the exhaust port lid and remove the lid.
2. Take out the exhaust filter.
3. Attach a new exhaust filter.
4. Reattach the exhaust port lid.



## 5.1.6 Replacing Inverter cooling intake/exhaust filter (For 750/1500)

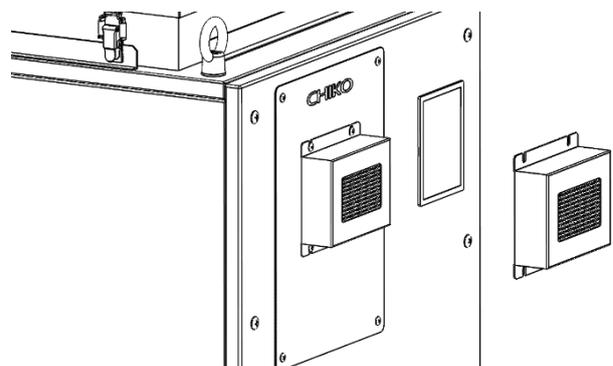
### ■ (Standard)

1. Remove the four screws on the panel cover.
2. Remove the panel cover as if to lift it up. Be careful not to drop it.
3. Remove inverter cooling intake/exhaust filter installed on the panel cover.
4. Attach a new inverter cooling intake/exhaust filter.
5. Reattach the panel cover.



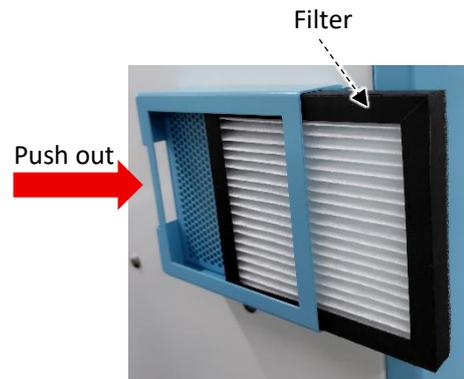
### ■ (-V1 specification)

1. Remove the four screws of the housing cover for the inverter cooling intake/exhaust HEPA filter.
2. Remove inverter cooling intake/exhaust HEPA filter installed on the HEPA filter housing cover.
3. Attach a new inverter cooling intake/exhaust filter.
4. Reattach the housing cover for the inverter cooling intake/exhaust HEPA filter.



### 5.1.7 Replacing Inverter cooling intake/exhaust filter (For 2200)

1. Remove the filter by pushing it up through the bottom hole of the inverter cooling intake filter storage cover with your finger.
2. Push the new filter in from above the inverter cooling intake filter storage cover. (Insert the filter so that the packing is on the side of the main unit.)
3. Remove the filter by pushing it out with your finger from the left hole of the inverter cooling exhaust filter storage cover.
4. Push the new filter in from the right side of the inverter cooling intake filter storage cover. (Insert it so that the packing is on the side of the main unit.)



## 5.2 Daily Checkup

Check item	Frequency	Check that:
Each door	Before operation	Filter case is completely closed.
Suction port	Before operation	Suction port is not blocked.
Exhaust condition	Daily	Exhaust port is not blocked.
Operation panel condition	Daily	Error or warning is not displayed.
Vibration of the unit	When in operation	Abnormal vibrations or noises
Status of the regulator	When in operation	Is air flowing?

## 5.4 Daily Care Method

 <b>CAUTION</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Be sure to disconnect the plug from the power outlet and confirm that the device is not operating.</li> </ul>
--	---	--

- In case the exterior of the device is dirty, wipe it gently with a soft cloth or a tightly squeezed cloth that will not make any damage on the device easily.
- To remove severe dirt, wet a cloth with neutral detergent diluted with water and wipe it gently.
- Benzine, thinner, gasoline or cleanser must not be used.

## 5.5 Errors/Warnings

If an error/warning occurs, the self-diagnosis function built-in the device lights (flashes) the ERROR lamp and shows display data and error number alternately on the display.

For a description of errors/warnings displayed, see “5.5.2 Error/Warning Table”

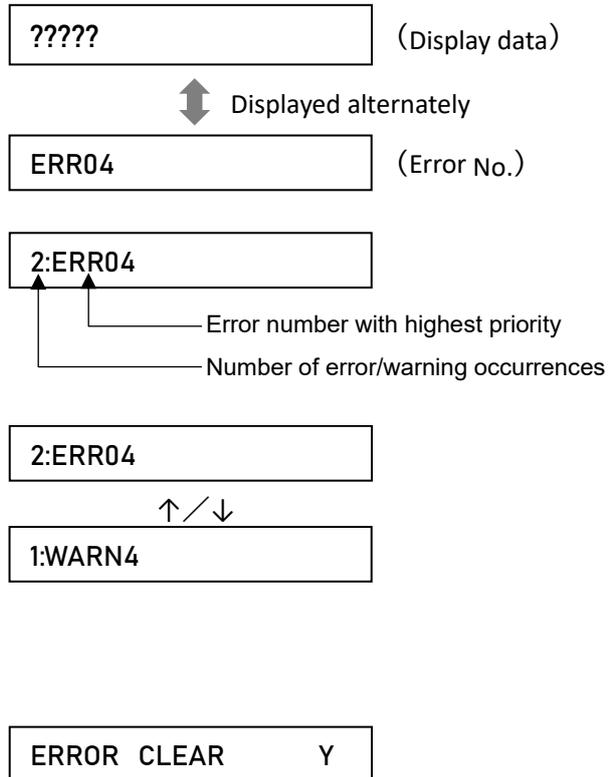
For faults and conditions not covered by self-diagnosis, see “5.6 Troubleshooting”.

### 5.5.1 Action on Errors/Warnings

If the self-diagnosis function of this device has detected an error or warning, take the steps below to clear the error or warning.

The screenshots for illustration are provided as examples.

1. If an error/warning occurs, the ERROR lamp lights (flashes) and the display shows display data and error number alternately. If there are two or more error/warning occurrences, the one with the highest priority is displayed.
2. Press the MODE SELECT button to move to the error confirmation mode. If there are two or more error/warning occurrences, the number of occurrences precedes the error number.
3. If there are two or more error/warning occurrences, press the Up/Down arrow buttons to check the error numbers.
4. Take an action appropriate for the error number shown on the display.  
“5.5.2 Error/Warning Table”
5. Press the MODE SELECT button to move to the error clear mode.



3. To clear the error/warning, press the ENTER button to return to normal mode. To leave the error/warning uncleared, press the MODE SELECT button to return to normal mode.

**If an error/warning is left uncleared:**

- For an error/warning that continues the operation ..... All buttons remain enabled.
- For an error/warning that stops the operation..... The ON button is disabled.

To resume the operation, clear the error/warning.

<b>IMPORTANT</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Once WARN6 or WARN7 is cleared, it will not reappear until the power switch is turned off and back on.</li> </ul>
------------------	--

## 5.5.2 Error/Warning Table

Priority	Error No.	Error/warning	Description	ERROR lamp	Device operation	Action
High  Low	ERR02	INV error	Detects abnormal signal from inverter	Lit	Stop	Follow the remedies for ② in "5.6 Troubleshooting".
	ERR04	Internal temperature error	Temperature around the blower is too high.	Lit	Stop	Follow the remedies for ② in "5.6 Troubleshooting".
	ERR06	Pressure error	Operation continued at low pressure for more than preset period.	Lit	Stop	Follow the remedies for ② in "5.6 Troubleshooting".
	ERR07	F-RAM write error	Cannot write to F-RAM.	Flashing	Remains operational	Contact CHIKO AIRTEC.
	ERR08	Communication error	BCC judgment mismatch	Flashing	Remains operational	See "AT3 Communication Specifications".
	WARN1	Internal temperature high	Temperature around the blower is close to the error threshold.	Flashing	Remains operational	Follow the remedies for ② in "5.6 Troubleshooting".
	WARN2	Filter replacement time limit expired	Operation continued at low air volume for more than preset period.	Flashing	Remains operational	Follow the remedies for ③ in "5.6 Troubleshooting".
	WARN3	Inadequate pressure (suction)	Suction pressure is low.	Flashing	Remains operational	Follow the remedies for ② in "5.6 Troubleshooting".
	WARN4	Inadequate air volume	Air volume is reduced by filter clogging.	Flashing	Remains operational	Follow the remedies for ③ in "5.6 Troubleshooting".
	WARN5	Exhaust pressure error	Exhaust pressure is too high.	Flashing	Remains operational	Follow the remedies for ③ or ④ in "5.6 Troubleshooting".
WARN6	Initial pressure unregistered	Initial pressure is not registered yet.	Flashing	Remains operational	Registering Initial Pressures.	

## 5.6 Troubleshooting

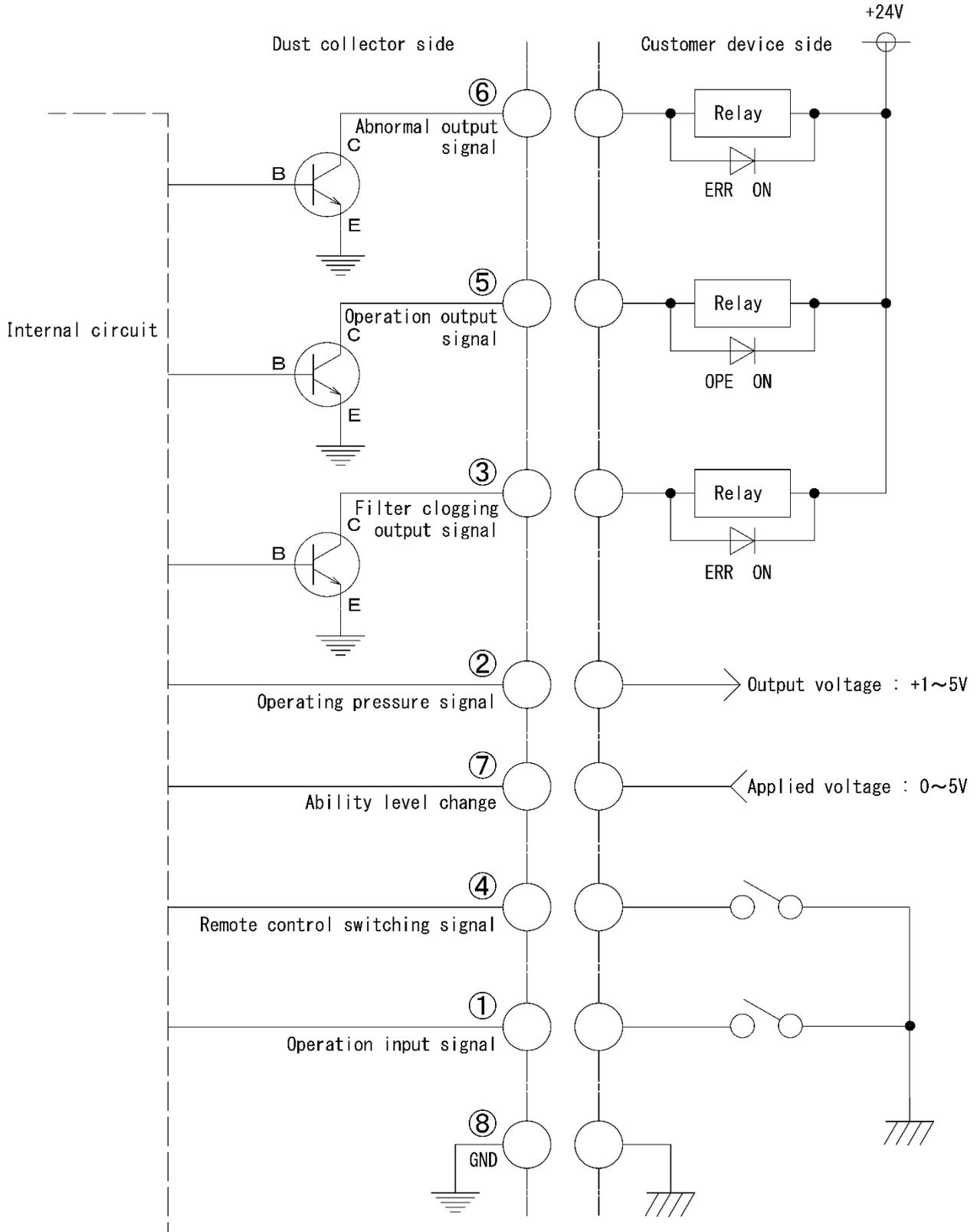
No.	Trouble phenomenon	Cause	Remedy
①	Organic EL display shows nothing.	Power not turned on	Turn on the power.
②	Motor fails to start or suddenly stops running.	Faulty motor	Call for repair. The motor must be replaced.
		Stopped due to overload or abnormal temperature	[1] Check that the exhaust/suction ports are not blocked. The ERROR lamp lights up if completely blocked. [2] Check the rated voltage. [3] Check for multiple (octopus) connections. [4] Check for motor overheat due to either filter clogging or suction temperature.  After the checks [1] to [4], take corrective action, and then turn the power switch off and back on. If the operation cannot resume, the temperature thermostat of the motor may be active. Turn off the main power, and after 30 minutes, resume the operation.
		Primary filter not in place	Install the primary filter correctly.
		Latches are unfastened.	Fastens the latches.
③	Lower suction force	Clogged filter	Replace filters. ☞ <i>"Replacing Filters"</i> If filters are left clogged, the device may result in "untrapped particles" or "temperature rise in dust collector".
		Clogged piping or suction port	Check if piping is clogged or the suction port blocked.
		Faulty motor	Call for repair. The motor must be replaced.
④	Untrapped particles	Improper filter installation	Reinstall filters. ☞ <i>"Replacing Filters"</i>
		Filter broken or past service life	Replace filters. ☞ <i>"Replacing Filters"</i>
		Clogged filter	Replace filters. ☞ <i>"Replacing Filters"</i>
⑤	Odd noise or vibration from motor	Foreign matter entered in blower.	Call for repair.
		Broken motor bearing	Call for repair.

Note: For other phenomena, contact CHIKO AIRTEC.

# Chapter 6 Useful Utilization (Optional)

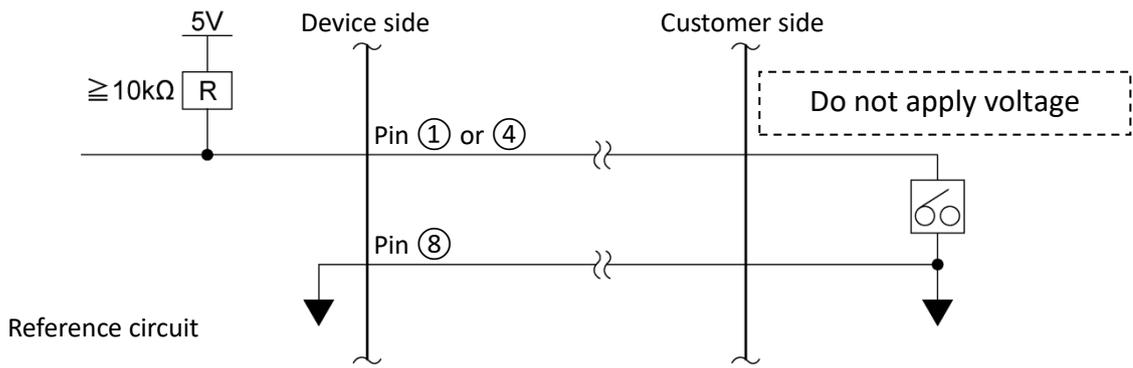
## 6.1 Remote Cable

### 6.1.1 Standard Connection Diagram

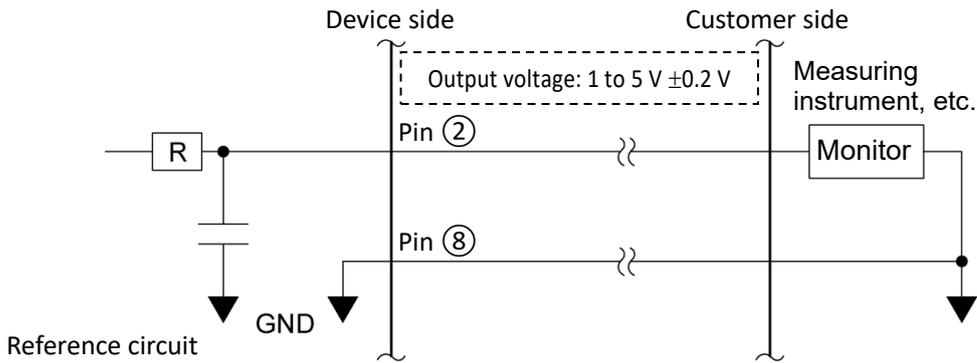


■ Connection examples

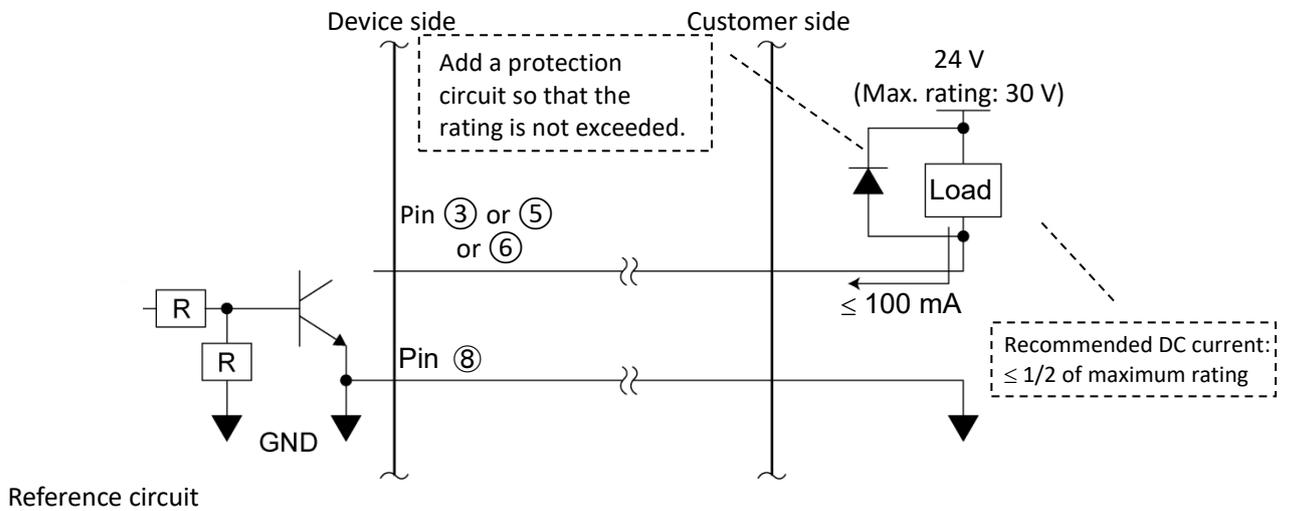
● Pins ① and ④ (input)



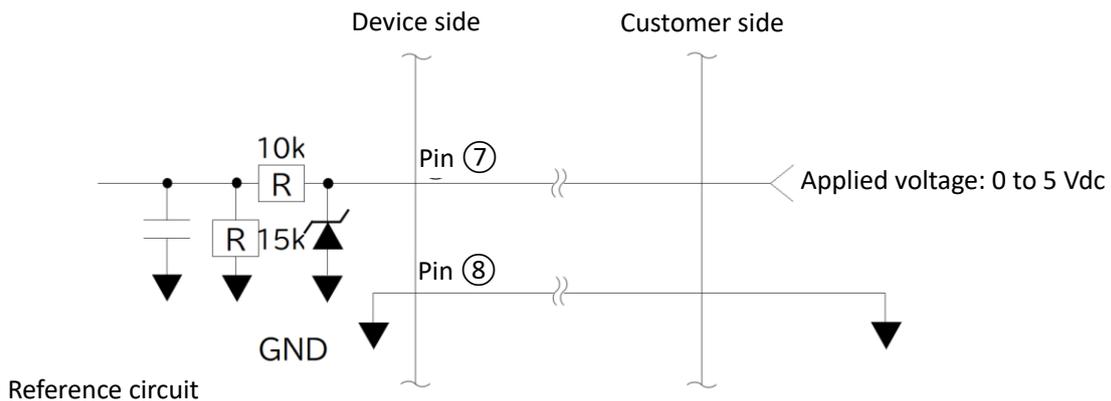
● Pin ② (analog output)



● Pins ③, ⑤, and ⑥ (open collector output)



● Pin ⑦ (input)



## 6.1.2 Pin Assignments

Wire color	Pin #	Signal name	Description	
Black	①	Operation input signal* <sup>1</sup>	Remote signals (Input)	With ④ and ⑧ short-circuited, ① is short-circuited to start operation.
Red/white	④	Remote control switching signal* <sup>1</sup>		④ and ⑧ are short-circuited to start remote operation. Once this short circuit is established, ordinary operation via the AT3 panel is disabled.
Yellow	⑦	Suction power level change* <sup>2</sup>		Voltage (0 to 5 V) can be applied between ⑦ and ⑧ to change suction power levels.
Yellow/white	⑧	GND		—
Black/white	②	Operating pressure signal	Output signals	Outputs the current operating pressure. Analog signal: 1 to 5 V; impedance $\geq 4.7 \text{ k}\Omega$
Red	③	Filter clogging output signal* <sup>3</sup>		Outputs HI during operation and LO when clogging occurs.
Green	⑤	Operation output signal* <sup>3</sup>		Outputs LO during operation and HI when stopped.
Green/white	⑥	Abnormal output signal* <sup>3</sup>		Outputs HI during operation and LO when an error occurs.

【Filter clogging output signal】 Pin③ : When WARN2, WARN4, or WARN5 are occurred.

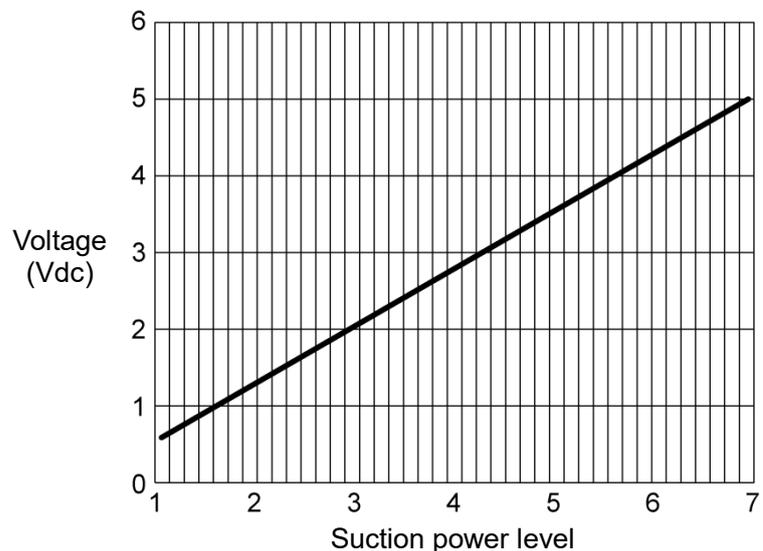
【Abnormal output signal】 Pin⑥ : When all ERRs occurred.

\*1: Contact input (non-voltage contact)

\*2: Analog output (1 to 5 V)

【Threshold table for voltage applied to pin ⑦】

Suction power level	Voltage (Vdc)
1	0.6 to 1.1
2	1.2 to 1.7
3	1.8 to 2.3
4	2.4 to 2.9
5	3.0 to 3.5
6	3.6 to 4.1
7	4.2 to 5.0



Allow for an error of  $\pm 4\%$  when setting voltage. Specifically, apply the midpoint of the voltage range for each level.

\*3: Open collector output : NPN

The maximum absolute rating is 30 V for voltage and 100 mA for current.

**The recommended current value is half or less of the rating.**

In case of adding an inductor (e.g., relay), install a noise limiter (approx.  $33 \Omega + 0.1 \mu\text{F}$ ), diode, or the like.

### 6.1.3 Remote Operation

- For operation on/off switching via remote operation, short-circuit pins ④ and ⑧.  
Pin ① is short-circuited → operation ON  
Pin ① is not short-circuited → operation OFF  
☞ “6.1.2 Pin Assignments”.
- Do not short-circuit between pins ④ and ⑧ when taking signals by operation on/off switching on the device side.  
Take out desired output signals as per the description in “6.1.2 Pin Assignments” (page 63).
- Initial pressure registration, operation ON/OFF control and suction power levels cannot be operated or changed on the device side during transition to remote operation.
- The current suction power level is stored in memory. This means that the previously effective level is stored even if main power is turned off.

## 6.2 Communication Function

---

The communication board set (model: RS-485 or RS-EN) can be used to operate or stop the machine, change the suction level, and otherwise control the machine. It also allows you to read out information indicating problems such as clogging and insufficient pressure.

For details, refer to the **separate document “AT3 Communication Specifications”**.

### 6.2.1 RS-485 Communication

For details on the RS-485 communication board, refer to the instruction manual.

### 6.2.2 Ethernet

For details on the LAN board for Ethernet communication, refer to the instruction manual.

#### Important

For details on “Com Setting” (communication format setting mode), refer to the **separate document “AT3 Communication Specifications”**.

# Chapter 7 Appendix

## 7.1 Specifications

Model	Motor rated output	Voltage	Current value	Frequency	Max. suction volume	Max. suction static pressure	Noise value* <sup>1</sup>	Mass
CMP-750AT3N (-V1) (-WIP)	1000W	200V Three phase	6.5A	50/60Hz	17.5 m <sup>3</sup> /min	5.0kPa	57~ 68dB	125.0kg
CMP-1500AT3N (-V1) (-WIP)	1500W	200V Three phase	9.3A	50/60Hz	27.5 m <sup>3</sup> /min	5.0kPa	57~ 68dB	133.0kg
CMP-2200AT3	2200W	200-230V Three phase	11A	50/60Hz	26.3 m <sup>3</sup> /min	5.8kPa	67~ 77dB	145.0kg

\*1: Noise value is measured with a hose connected to the suction port, at a distance of 1m from the device, on the A scale dB.

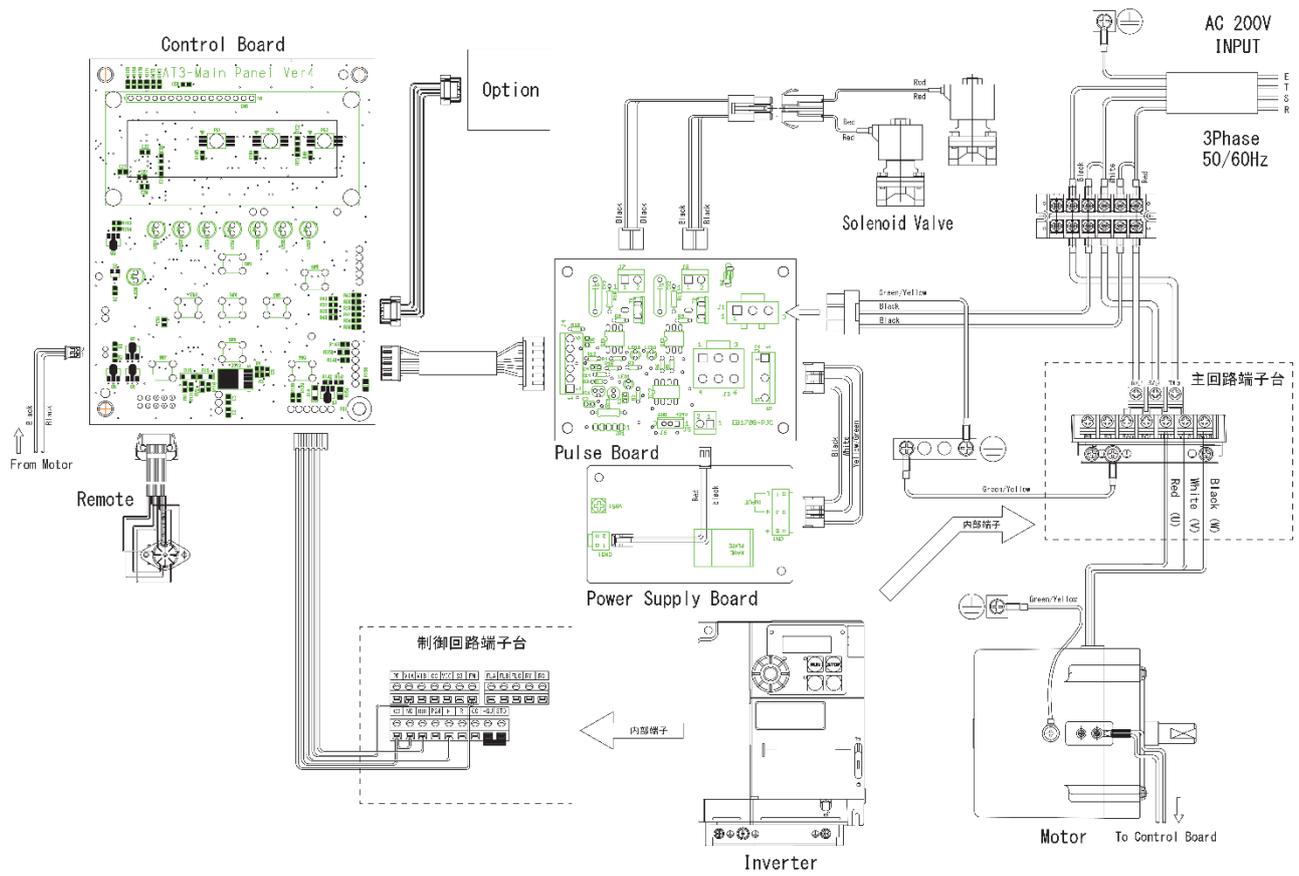
## 7.2 Consumables List

Part name	Replacement Intervals* <sup>1</sup>	CMP-750AT3N (-V1) (-WIP)	CMP-1500AT3N (-V1) (-WIP)	CMP-2200AT3
Antistatic plastic bag	6 to 12 months	DP-1055-450E	DP-1055-450E	—
Primary filter	6 to 12 months	CS-175-300-63P-R	CS-175-500-63P-R	CS-180-500-83P-R
Inverter cooling intake filter	6 to 12 months	PS/300N (100x125)	PS/300N (100x125)	CMF-1011-13
Inverter cooling exhaust HEPA filter (V1 specification)	6 to 12 months	HEP-1293-34	HEP-1293-34	—
Exhaust HEPA filter (V1 specification)	6 to 12 months	HEP-5040-80	HEP-5040-80	—

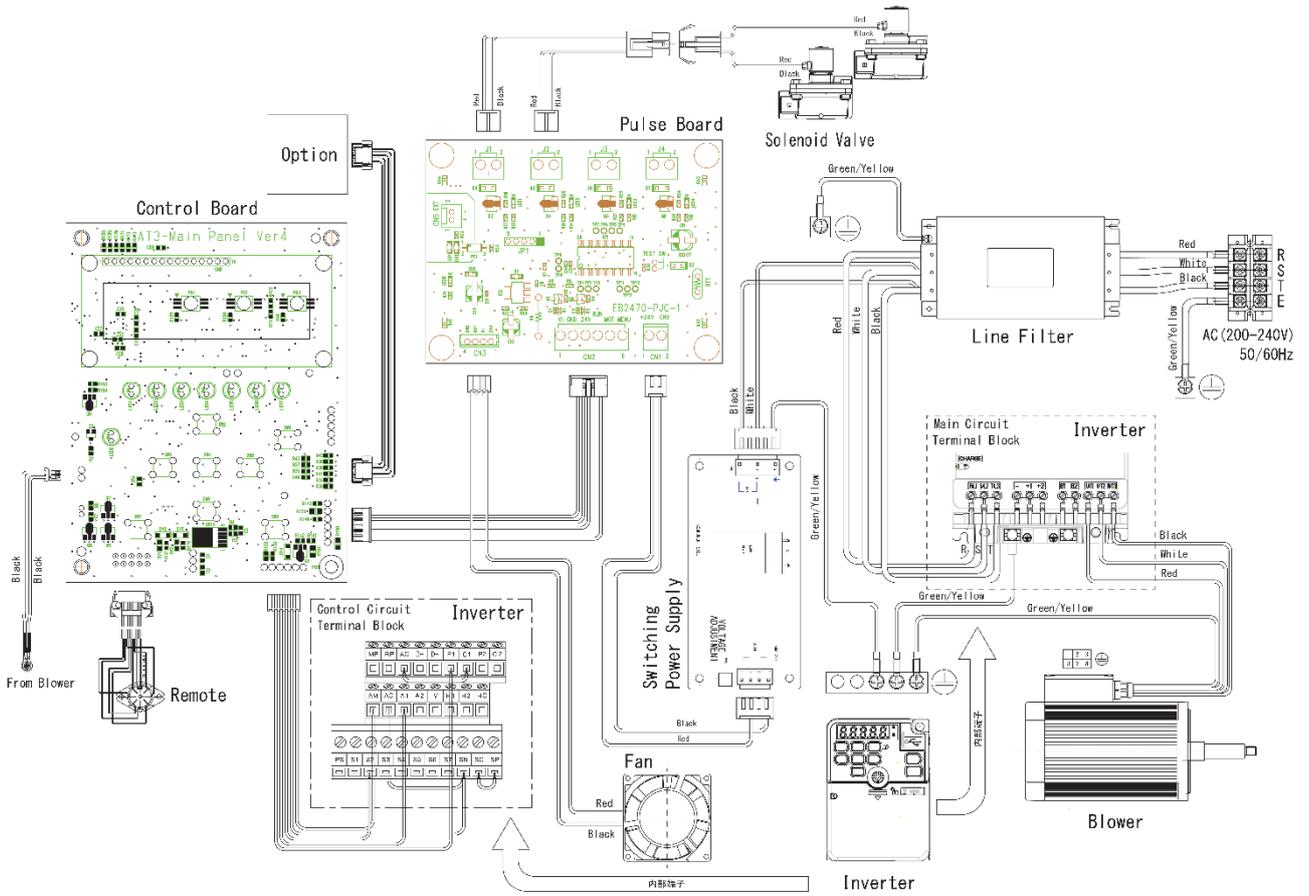
\*1: The replacement intervals vary with the use frequency, environment, and suction concentration (substance and composition) at the customer's site.

# 7.3 Electrical Diagram

## 7.3.1 CMP-750AT3N / CMP-1500AT3N



### 7.3.2 CMP-2200AT3



## ■ Scope of Warranty and Responsibility

### ● Warranty period

We will repair free of charge any failures or damages that may occur during normal operating conditions within 12 months of shipment.

However, this does not apply to the consumables listed in “7.2 Consumables List”.

☞ “7.2 Consumables List”

The following cases will be handled as a charged service even within the warranty period.

- Failure or damage Page 49 “Replacing Filters” caused by violation of the instructions in this document.
- Failure or damage due to use in an operating environment other than that described in this document.
- Repair, alteration, disassembly, or similar action done any party other than CHIKO AIRTEC or a CHIKO AIRTEC-designated sales agent.
- Blemish, contamination, or other appearance change that may occur during use.
- Replacement of any consumable or accessory, or use of any part not designated by CHIKO AIRTEC.
- Failure of damage due to falling after purchase or accident during transport.
- Failure or damage due to natural disasters, such as: fire, salt damage, gaseous damage, earthquake, wind and flood damage, lightning strike, and abnormal voltage.

### ● Repairs

Travel expenses for on-site service will be chargeable whether within or outside the warranty period.

For repair reasons, improved parts may be used for repair.

CHIKO AIRTEC will not be liable for any damage resulting from use of this device, such as damage caused by failure of the device or by erasion of data.

## ■ Memo about purchase

Model		Serial No.
Date of purchase		Operation start date:
Your name		
Address	Phone Person in charge	

MEMO

**チコーエアーテック株式会社**

**CHIKO AIRTEC CO., LTD.**

〒562-0012 大阪府箕面市白島 2-27-24

2-27-24, Hakunoshima, Minoh-shi, Osaka, 562-0012 Japan

TEL (81) 072-720-5151 FAX (81) 072-720-5133

URL <http://chiko-airtec.jp/>